

令和七年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県多文化共生さが推進課

目 次

I 国際化の現況

1. 海外渡航者の状況

(1) 日本人出国者数の推移	1
(2) 全国の外国人入国者数	1
(3) 佐賀県旅券発行件数	1
(4) 佐賀県の年代別発給件数	2

2. 在留外国人数の状況

(1) 年次別在留外国人数の推移	3
(2) 在留外国人数（国籍・地域別）	4
(3) 在留外国人数（在留資格別）	5

3. 外国人留学生の受入状況

(1) 外国人留学生数の推移	6
(2) 県内外国人留学生の受入状況（学校別）	6

II 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業	7
(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業	16
(3) 市町の事業	17

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数	28
(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧	28

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧	29
(イ) 県の状況	30
(ウ) 市町の状況	31
(エ) その他友好団体	35

ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流

(ア) 大学・短期大学	36
(イ) 高等学校	41
(ウ) 中学校	42
(エ) 小学校	45

(2) 世界の諸地域との交流

ア 市町別移住者数一覧	46
イ 在外県人会	47

3. 国際化推進のための環境づくり

(1) 語学指導等を行う外国青年招致事業(JET プログラム)

ア 年度別招致状況	48
イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況	49

(2) 外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数	50
イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	50
ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況	51
エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況	51
オ 海外との交流状況	
(ア) 高等学校	52
(イ) 義務教育学校	54
(ウ) 中学校	54
(エ) 小学校	56

(3) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数	58
----------------------	----

4. 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況	59
イ 独立行政法人国際協力機構(JICA) 研修員受入状況	61
ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA) 海外技術専門家派遣状況	64

エ 青年海外協力隊等派遣状況

（ア） 年度別派遣者数	66
（イ） 国別・地域別派遣者数	66
（ウ） 青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況	68
（エ） シニア海外協力隊派遣状況	68
（オ） 日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況	68
オ アセアン青年・青年研修等受入状況	69

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）	70
2. 県の機関	71
3. その他関係機関	71

I 国際化の現況

1. 海外渡航者の状況

佐賀県(※)の日本人出国者数は、平成12年をピークに減少傾向にあったが、平成28年から令和元年まで4年連続で増加した後、令和2年に新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ。)が世界的に流行してからは減少に転じ、令和2年は前年比13.9%、令和3年は大幅に減少した前年からさらに減少し前年比7.6%となった。令和5年にはコロナが5類に移行したこともあり令和5年から令和7年まで3年連続で増加し、令和7年は対前年比111.4%となり、コロナ前の令和元年比で70.2%まで回復した。

全国でみても、日本人出国者数は令和3年が前年比16.1%と大幅に減少したが、令和4年から増加に転じ、令和7年も対前年比113.3%となるなど、佐賀県同様の増減サイクルとなった。

また、令和7年の全国の外国人入国者数は、前年に比べ565万966人増加し、過去最高となった。韓国が最も多く、次いで中国、台湾の順となっており、アジア圏からの入国者が多くなっている。

佐賀県の旅券発行件数においては、令和元年の発行件数は21,402冊であったが、コロナの流行により令和2年以降は旅券取得を希望する人が大幅に減り、令和3年は令和元年比6.2%(1,328冊)と大きく減少した。その後、令和4年には増加に転じ、令和7年の発行数は16,377冊となり、コロナ前の令和元年比で76.5%まで回復した。

(1) 日本人出国者数

年次	佐賀県(※)		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
H5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
H6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
H7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
H8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
H9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
H10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
H11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
H12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
H13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
H14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
H15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
H16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
H17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
H18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
H19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
H20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
H21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
H22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
H23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
H24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
H25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
H26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
H27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
H28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
H29	58,515	105.2	17,889,292	104.5
H30	67,003	114.5	18,954,031	106.0
H31/R元	71,500	106.7	20,080,669	105.9
R2	9,942	13.9	3,174,219	15.8
R3	758	7.6	512,244	16.1
R4	5,593	737.9	2,771,770	541.1
R5	32,282	577.2	9,624,158	347.2
R6	45,049	139.5	13,007,282	135.2
R7	50,204	111.4	14,731,615	113.3

※住所地が佐賀県

(2) 全国の外国人入国者数

年次	人数(人)	前年比%
H5	3,747,157	95.4
H6	3,831,367	102.2
H7	3,732,450	97.4
H8	4,244,529	113.7
H9	4,669,514	110.0
H10	4,556,845	97.6
H11	4,901,317	107.6
H12	5,272,095	107.6
H13	5,286,310	100.3
H14	5,771,975	109.2
H15	5,727,240	99.2
H16	6,756,830	118.0
H17	7,450,103	110.3
H18	8,107,963	108.8
H19	9,152,186	112.9
H20	9,146,108	99.9
H21	7,581,330	82.9
H22	9,443,696	124.6
H23	7,135,407	75.6
H24	9,172,146	128.5
H25	11,255,221	122.7
H26	14,150,185	125.7
H27	19,688,247	139.1
H28	23,218,912	117.9
H29	27,428,782	118.1
H30	30,102,102	109.7
H31/R元	31,187,179	103.6
R2	4,307,257	13.8
R3	353,119	8.2
R4	4,198,045	1,188.9
R5	25,830,810	615.3
R6	36,779,964	142.4
R7	42,430,930	115.4

調：法務省出入国在留管理庁

(3) 佐賀県旅券発行件数

(単位：冊)

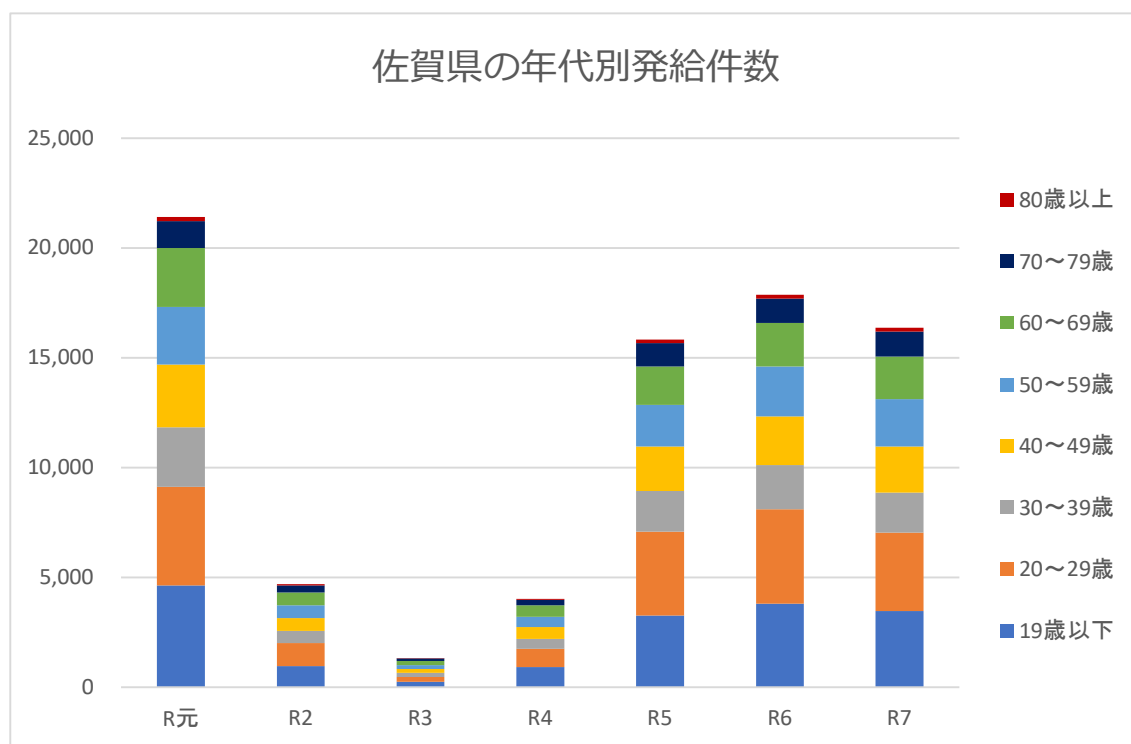
年次	H29	H30	H31/R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
佐賀県発行数	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820	17,873	16,377
国内発行数	3,959,468	4,182,207	4,365,290	1,234,928	513,943	1,218,692	3,401,533	3,700,111	3,493,238

調：外務省

(4) 佐賀県の年代別発給件数（令和7年1月～12月）

年次 区分	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
19歳以下	4,645	967	259	923	3,272	3,812	3,480
20～29歳	4,478	1,043	218	834	3,804	4,289	3,564
30～39歳	2,723	558	179	443	1,860	2,006	1,830
40～49歳	2,848	585	171	537	2,031	2,227	2,093
50～59歳	2,622	574	176	479	1,881	2,274	2,163
60～69歳	2,671	578	197	512	1,767	1,987	1,926
70～79歳	1,234	333	109	253	1,043	1,105	1,149
80歳以上	181	58	19	35	162	171	172
合 計	21,402	4,696	1,328	4,016	15,820	17,871	16,377

調：外務省

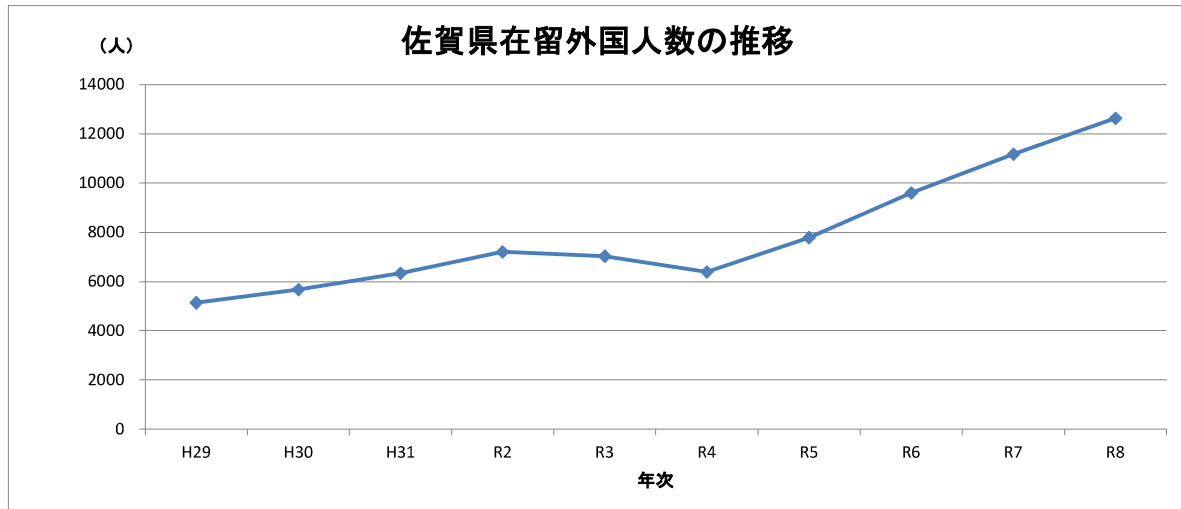


2. 在留外国人数の状況

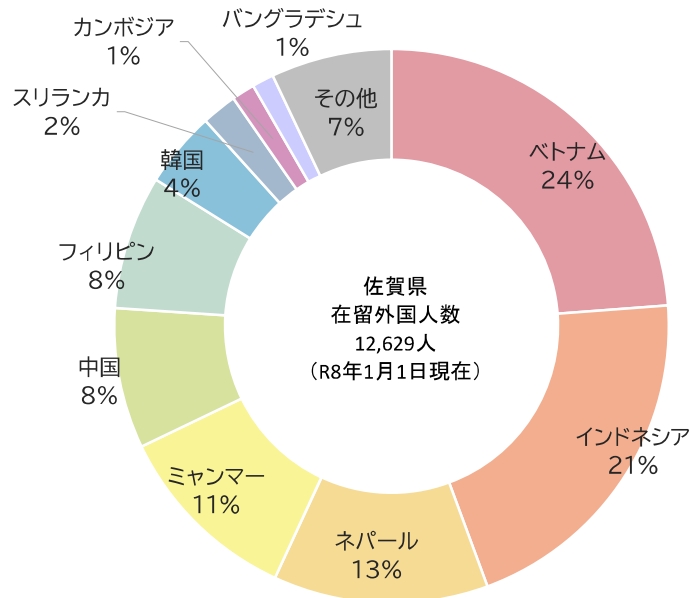
(1) 年次別在留外国人数の推移

年次	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
佐賀県	5,143	5,666	6,338	7,205	7,027	6,394	7,785	9,601	11,175	12,629
全国	2,323,428	2,497,656	2,667,199	2,866,715	2,811,543	2,704,341	2,993,839	3,323,374	3,677,463	4,031,159

※各年1月1日現在（総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」）



R8 佐賀県 国籍別在留外国人数の割合



調：多文化共生さが推進課

令和8年1月1日現在

無国籍	0	1	0
-----	---	---	---

※その他は無国籍、出生による経過滞在者

出典：多文化共生さが推進課調

(3) 在留外国人数 (在留資格別)

令和8年1月1日現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計
総 計	3,379	1,276	2,541	346	937	406	320	401	333	421	361	492	190	358	18	213	42	110	369	116	12,629
技 能 実 習	601	582	339	166	420	151	83	129	90	138	190	114	102	185	4	80	4	52	176	60	3,666
特 定 技 能	646	287	452	71	307	78	88	84	48	110	68	228	48	47	6	39	14	28	119	34	2,802
留 学	735	2	727	7	0	1	7	2	36	74	0	40	0	0	0	7	0	2	8	0	1,648
永 住 者	404	143	236	20	48	36	15	58	27	28	33	25	9	51	1	21	3	3	22	6	1,189
技術・人文知識・国際業務	189	53	268	22	27	31	9	28	42	23	13	35	7	17	0	14	2	7	4	3	794
家 族 滞 在	234	44	191	19	25	36	13	27	29	15	13	10	3	20	2	14	11	4	5	0	715
特 別 永 住 者	134	37	44	10	38	8	8	14	27	7	6	6	2	1	0	13	0	4	8	1	368
日本人の配偶者等	98	47	65	6	26	26	15	15	16	4	8	11	3	14	3	8	2	1	10	2	380
介 護	63	9	26	11	4	10	16	7	6	8	6	3	4	11	1	1	2	3	5	5	201
定 住 者	64	18	45	5	6	5	3	13	1	1	4	7	2	8	0	2	0	1	1	2	188
特 定 活 動	80	14	46	5	15	6	31	13	4	10	11	9	4	2	0	6	0	3	9	3	271
技 能	29	9	64	0	3	5	4	3	0	1	2	0	4	0	0	0	1	0	0	0	125
教 育	20	15	5	0	2	6	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	2	2	1	0	65
経 営 ・ 管 理	16	5	13	4	5	2	2	3	1	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	57
永住者の配偶者等	18	4	11	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	40
企 業 内 転 勤	5	0	1	0	2	0	18	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
興 行	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
宗 教	3	1	2	0	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
高 度 専 門 職	7	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13
教 授	18	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
文 化 活 動	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10
医 療	2	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
その他（未取得等）	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
芸 術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
報 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 修	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

* 「その他」は、出生による経過滞在で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者等

出典：多文化共生さが推進課調

3 外国人留学生の受入状況

令和7年の佐賀県における外国人留学生数は、1430人と前年に比べ378人の増加となっている。
 学校種別で見ると、日本語学校の増加が目立つ。学校別で見ると、大学・短大では佐賀大学の199人が最多であり、日本語教育機関などではCODO外語観光専門学校の241人が最も多い。
 国籍別で見ると、ネパールが711人と圧倒的に多く、ミャンマーが375人と続く。大学では中国、日本語教育機関などではネパールが多数を占めている。

(1) 外国人留学生数の推移

(単位：人) 令和7年5月現在

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
大学	258	199	142	156	208	241	302
短期大学	104	136	129	161	160	230	310
日本語学校	370	323	27	316	459	361	577
専門学校	199	291	248	149	181	220	241
県内計	931	949	546	782	1008	1052	1430
全国計	312, 214	279, 597	242, 444	231, 146	279, 274	336, 708	408, 069

調：(県内) 佐賀地域留学生等交流推進協議会

調：(全国) 独立行政法人日本学生支援機構

(2) 県内外国人留学生の受入状況 (学校別)

(単位：人) 令和7年5月現在

	ネパール	ベトナム	中国	ミャンマー	スリランカ	バングラデシュ	韓国	インドネシア	マレーシア	タイ	その他	計
佐賀大学	1	6	49	3	8	39	10	33	11	8	31	199
西九州大学	18	6	30	44	0	1	2	0	0	2	0	103
西九州大学短期大学部	2	6	1	153	0	0	0	0	0	0	2	164
九州龍谷短期大学	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
佐賀女子短期大学	8	1	0	127	0	0	6	0	0	0	1	143
弘堂国際学園	161	9	0	17	5	4	0	0	0	0	2	198
日本文化教育学院	166	0	0	0	7	5	0	0	0	0	0	178
佐賀ランゲージセンター	132	1	1	21	11	3	0	0	0	2	10	181
ICA国際会話学院	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	20
CODO外語観光専門学校	214	8	1	7	6	3	0	0	0	0	2	241
合計	711	37	82	375	37	55	18	33	11	12	59	1430

調：佐賀地域留学生等交流推進協議会

Ⅱ 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業（令和7年度）

課名	事業名	内 容
国際政策グループ	グローバルSAGA推進事業	国際情勢の変化を的確に捉えて対応するため、派遣・招聘を実施し、友好交流地域、重点連携国等との連携強化及び深化を図った。 ○（招聘）国際交流推進関係 ・R7.11.10 リタ・ファン・ドリエル氏（オランダパラスポーツ関係者） ○（招聘）外務関係 ・R7.10.18 タイ王国文化省芸術局長及び在福岡タイ王国総領事ほか（タイフェスティバル関連） ・R7.12.5～12.6 駐日フィンランド大使招聘（フィンランドフェア関連） ○（招聘）外国政府機関等の知事表敬受け入れ ・R7.6.4 在福岡インド総領事 ・R7.8.4 駐日トンガ王国特命全権大使 ・R7.8.8 駐日ジョージア大使 ・R7.12.8 駐日欧州連合特命全権大使 ・R7.12.9 駐日アイルランド特命全権大使 ・R8.1.8 在福岡ベトナム総領事 ・R8.3.23 在オランダ日本国特命全権大使 ・R8.3.27 在福岡米国首席領事 等 ○（派遣）駐日大使館等主催のレセプション参加対応 ・国慶節（韓国、台湾）等 ・ナショナルデー（ベトナム、中国、インド、タイ）等
	重点連携国情報発信事業	タイ及びフィンランドとの今後の交流や更なる取組の創出につなげるため、両国との連携及び関係する様々なコンテンツの対比・組み合わせ・融合等のコラボレーションを県民に知ってもらう機会を創出するイベントを実施した。 ○タイフェスティバルin SAGA シリーズ9 ・日時：R7.10.18～10.19 ・来場者数：約20,000名 ○フィンランドフェアin SAGA シリーズ7 ・日時：R7.12.6～12.7 ・来場者数：約10,000名
	日韓海峡沿岸交流事業	日本側4県（福岡県、佐賀県、長崎県、山口県）及び韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との知事会議等の開催を通して、両地域間における広域的かつ多様な交流の促進を図った。 ・日時：R7.11.1～11.2 ・開催場所：済州特別自治道
	海外県人会交流推進事業費	○在外県人会に対する活動支援補助金により、会員同士の結びつきが強まり、県人会の活動が活性化された。 ○ブラジル及び南カリフォルニア県人会の周年記念式典出席により、本県出身の海外移住者やその家族の慰霊及びこれまでの功労を称えるとともに、佐賀県の情報や県政の動きを発信した。 ・南カリフォルニア佐賀県人会120周年記念レセプション：R7.8.21 ・ブラジル佐賀県文化協会創立70周年記念式典：R7.8.24
国際政策グループ	創造的プラットフォーム形成事業費	オランダ支援財団を通じてクリエイターを受け入れ、滞在型創作活動を行うため約3か月間有田町に滞在するクリエイティブレジデンス有田（CRA）の受入支援を行った。 ・期間：第1期R7.6.1～8.31（2名） - 第2期R7.9.15～12.15（2名）
	グローバルパートナーシップSAGA推進事業費（特定経費）	佐賀県の国内外におけるプレゼンスの向上を図るため、新規連携国の開拓及び既存連携国との連携促進・新規分野の開拓を行った。 ・スペイン・ゴヤ賞映画祭 in SAGA（スペイン） ・オランダ青少年派遣事業（オランダ） ・肥前吉田焼産地再生プロジェクト（フィンランド）
多文化共生さが推進課	海外交流推進事業	○オンラインによる学校交流を実施 ・韓国（全羅南道）：1校（高志館高校） ・オランダ：1校（佐賀西高校） ○韓国（全羅南道）との交流 ・両地域の共通する政策課題に関する交流を実施（佐賀県から全羅南道へ派遣） ○中国（貴州省、遼寧省）との交流 ・中国貴州省と佐賀県の青少年交流事業（貴州省の高校生10名が佐賀県を訪問） ・中国遼寧省と佐賀県の青少年交流事業（佐賀県の大学生等13名が遼寧省を訪問）

課名	事業名	内 容
が 多 推 文 進 化 課 共 生 さ	JICAボランティア支援事業	佐賀県ホームページにて、佐賀県JICAデスクのホームページを案内し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。
	国際交流支援拠点の運営	多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。
多 文 化 共 生 さ が 推 進 課	外国人に関する総合相談窓口運営	外国人に関する相談窓口の機能を強化するため、国際交流プラザ内に「さが多文化共生センター」を設置し、様々な相談対応を行った。 ・相談体制：専任相談員3名 ・相談言語：22言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、マレー語、ネパール語、タガログ語、インドネシア語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウルドゥー語） ・実施主体：公益財団法人佐賀県国際交流協会（県の委託） ・相談実績：R7年度（R7. 4. 1～R8. 3. 31）1073件
	在住外国人支援事業	多文化共生の地域づくりの推進のため、外国人住民の生活環境づくりを行った。 ○防災支援 在住外国人の防災意識の向上や災害時対応の知識・技能の習得を目的として、県内3市町で外国人のための体験型防災セミナーを実施した。開催にあたっては、警察署や消防署等と連携し、複数言語対応のテキストを用意するなどして、防災グッズや応急手当等の訓練を行った。 ○医療支援事業 医療通訳サポーターの医療機関への派遣及び通訳サポーター研修を実施した。また、医療機関を受診の際、電話による通訳サービスを使用できるよう、外部コールセンターを利用した医療通訳サービスを提供し、広く周知を行った。 ○行政手続支援事業 県内市町行政機関の担当窓口等（役場や福祉事務所等）が円滑な相談対応をできるようにするため、電話通訳サービスの提供を行い、広く周知を行った。 ○保育所等支援 県内の保育所や幼稚園等に対して、外部コールセンターを活用した通訳支援サービスを提供した。
	多文化共生地域場の場づくり推進事業	「生活者としての外国人」が日本人住民と交流を通して、日本で生活する上で必要な日本語や生活のルール、文化、風習などを学び、「顔の見える関係づくり」を目的とする地域日本語教室を県内の各市町に設置することで、外国人住民の日本語学習機会や地域住民等との交流の場を整備、充実させた。 ・設置状況：地域日本語教室設置地域16市町 ・地域日本語教室の数：県内25か所（行政主催：9市町9か所、ボランティア主催：16か所）
	多文化共生環境整備事業	R3～4年度にかけて実施した住民へのアンケート調査や多文化共生の推進に係る施策検討会議での意見等を踏まえ策定した「さが多文化共生推進アクション」の活用と更新を図った。また、県内市町と協働してタウンミーティングを開催するなど、地域や事業所等における多文化共生マインドの醸成、「顔の見える関係づくり」の促進を図った。
	多文化共生に関する行政職員向け研修会	多文化共生を進めるうえで、住民に対して直接行政サービスを提供する市町との連携は極めて重要であることから、更なる強化を目的に県内20市町の職員を対象に研修会を開催し、県内の実務者の顔の見える関係づくりを構築し、情報共有を図った。 ・開催日：R7. 4. 24 ・研修内容：行政窓口における外国人対応、多言語通訳コールセンターの使い方、災害時の外国人支援、避難所での外国人対応 等
	外国人留学生県内就職・進学支援事業	県内事業所での優秀な外国人材の活用、県内の多文化共生の地域づくりを図るために、外国人留学生の県内定着率の向上に取り組んだ。 外国人留学生の県内就職・進学に取り組む大学等に対し補助金を交付した。
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 ・支援金受給者：9名 ・支援者：7つの企業・団体
	多文化共生の地域づくり事業	地域おこし協力隊制度を活用し、「多文化コミュニケーションプランナー」1名を配置。地域における多文化共生の意識醸成を図るとともに、地域と外国人をつなぐ仕組みづくりを実施した。
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員4名（ベトナム1名、韓国1名、中国1名、フィンランド1名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。

課名	事業名	内 容
多 が 文 推 進 共 課 生 さ	外国語指導助手（ALT）、国際 交流員（CIR）の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により、日本と諸外国の人々の相互理 解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手（Assistant Language Teacher: ALT）、 国際交流員（Coordinator for International Relations）の設置のサポートを県内の市町に実施 した。 ・JETプログラムによるALT・CIR（国際交流員）数： 県や10市町に37名（国籍：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ等）
空 港 課	上海便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5. 9から約3年半ぶりに運航を再 開。 運航路線：九州佐賀国際空港―上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：R6. 4. 1～週3便 R7. 7. 6～週4便 R7. 12. 22より運休 利用者数：36,421名
	西安便の運航	九州佐賀国際空港と西安咸陽国際空港との間で国際定期航空路線が開設しているものの、コロナ 禍以降、運休が継続。 運航路線：九州佐賀国際空港―西安咸陽国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：R1. 10. 28～週3便 R2. 2. 7より運休 利用者数：－
	ソウル便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5. 9から約4年ぶりに運航を再開。 運航路線：九州佐賀国際空港―仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：R6. 4. 2～R6. 10. 26週3便、R6. 10. 27～週4便 R8. 1. 6～R8. 2. 28 期間デیلیー 利用者数：74,920名
	台北便の運航	新型コロナウイルス感染症等の影響により運休していたが、R5. 4から約3年ぶりに運航を再開。 運航路線：九州佐賀国際空港―台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：R7. 4. 1～週3便 利用者数：47,355名
広 報 広 聴 課	海外映画ドラマ等のロケ誘致	映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ 等のロケ誘致を行っている。R6年度は、R5年度に人気だったマレーシアドラマの続編を再び佐賀 県で撮影し、マレーシアはじめ東南アジアを中心に配信され人気となった。R7年度はシンガポ ールドラマや韓国ドラマの撮影誘致にも成功した。
文 化 課	宇宙科学館外国人来館者等へ の多言語対応	・多言語対応ガイドアプリ「Bloomberg Connect」による案内 ・外国語パンフレット（英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）の設置 ・宇宙発見ゾーンの英語版展示解説（QRコード読み込みにより表示される）
九 州 陶 磁 文 化 館	在外肥前陶磁調査事業	九州陶磁文化館学芸員の海外派遣調査事業 海外の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼 の展示機会の促進及びより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプ レゼンス向上につなげることを目的としている。R7年度は、韓国国立光州博物館との交流をもと に調査先を設定し、陶磁器の展示手法を調査するとともに、当館からの情報提供を行った。 【概要】 ・調査先：韓国（韓国国立光州博物館、国立海洋遺産研究所 木浦海洋遺物展示館 木浦生活陶 磁器博物館）R. 8. 3. 10～3. 13
	国際学術・文化交流事業	○韓国 国立光州博物館との学術交流協定 韓国の国立博物館の中で陶磁器を主なテーマとして活動を行う光州博物館と学術交流協定を締結 している（H31. 3. 27～）。国立光州博物館では、R7. 12にアジアの陶磁文化を紹介する陶磁器専用 の新館「陶磁文化館」がオープンし、開会式に招待を受け職員を派遣した。再び訪問し、協力し た映像展示を含め展示手法を調査し、相互ネットワークを構築した。 ○日本肥前磁器芸術中国交流展（名称未定）への協力 中国各地を巡回してR7年からの開催が企画されている展覧会に館蔵品約100件の出品準備と展示内 容の監修等の協力を進め、開催地と開催時期について、プロモーターを通じて調整を継続してい たが、日中関係の変化により、延期することとなった。 ○オランダ プリンセンホフ博物館との交流 プリンセンホフ博物館では、オランダを代表する窯業地デルフトに所在し、R6年度に特別展 Pioneering Ceramicsが開催され、クリエイティブレジデンシーアリタによる成果品が展示され た。大阪万博会場で、陶磁器を通じた交流に関するトークショーが開催され、両博物館から学芸 員が話者として登壇した（R7. 5. 25）。引き続き、プリンセンホフ博物館のリニューアル展示およ び陶磁器を通じた日蘭の文化交流をテーマとする特別展について、共同研究を行うことについ て、意向書を取り交わした。日時：R7. 5. 28

課名	事業名	内 容
九州陶磁文化館	外国人来館者等への多言語対応	○多言語化推進 英語による展示解説表記及び多言語パンフレット（英語、ドイツ語、フランス語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語）配布 ○英語版ガイドブック 第1展示室「有田焼の歴史」の展示内容を解説したガイドブック英語版の販売 ○ブルームバーグコネクツへの参画 ブルームバーグが運営する50以上の言語に対応するデジタルガイドに参画し、館内でパンフレットを配布
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	○韓国国立晋州博物館との交流事業 国立晋州博物館との間で締結した交流協定（平成14年度～）に基づき、展覧会・資料調査・文化財の貸与などそれぞれの事業に対して相互協力を実施。R7年度は3月23日～26日の期間で晋州博物館等での訪韓調査を実施した。 ○韓国語講座 ・内容：国際交流員による一般向けの韓国語講座 ・期間：前期 R7.5.31～8.9（毎週土曜日、全10回、初級） 33名 後期 R7.12.6～R8.2.28（毎週土曜日、全11回、中級） 24名 ・会場：本館 図書閲覧室 ○第20回韓国語スピーチコンテストinなごや ・期日：R7.10.26（日）13時～16時30分 ・会場：本館ホール ・出場者：25名（スキット部門9組18名、スピーチ部門7名） ・後援：駐福岡大韓民国総領事館、福岡韓国教育院、韓国観光公社福岡支社、佐賀県教育委員会
	県内学校の日韓交流事業への協力	○唐津市立名護屋小学校 ・内容：国際交流員による韓国文化・韓国語に関する出張授業を実施 ・対象及び回数：1年生～6年生の児童、2回 ○佐賀県立唐津青翔高等学校 ・内容：国際交流員による韓国語に関する出張講座を実施 ・対象及び回数：韓国文化同好会に所属する生徒、1回
	博学協働授業	○県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 ・概要：唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定される学校設定科目「日韓交流史」（2単位）を、本館と学校との協働により年間を通じて運営。H18年度から継続。 ・対象・回数：韓国文化系列2年生（R7年度・第20期生は12名） ・回数：27回（R7年度） ・授業内容：名護屋城跡・陣跡を中心とした日韓交流史、韓国文化
	外国人来館者等への多言語対応	○多言語化推進 ・R5年3月に近年の展示拡充を追加した館内パンフレット（英・韓）を更新した。 ・R7年3月に多言語対応のデジタルガイドアプリ「Bloomberg Connects」を導入し、館や特別史跡「名護屋城跡並陣跡」に関する概要解説を掲載。利用者は自動翻訳機能を用いて50以上の言語で閲覧が可能。 ○リニューアルに伴う展示解説の英訳追加 ・R6年度に実施した常設展示の一部リニューアルにおいて、各コーナーの解説文に英語の要約を追加した。
	外国語おもてなし事業	・外国語による館内表示 ・佐賀城本丸ボランティア外国語班による来館者への展示解説（事前予約制） ・中国語と韓国語の通訳ガイドによる展示概説
佐賀城本丸歴史館	広報誘客事業	・外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語） ・外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）約30台 ・博物館ガイドアプリ「Bloomberg Connects」を活用した、音声（日本語・英語・中国語・韓国語）やテキスト（40以上の言語）での展示案内
コンチンペーンション	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（誘致プロモーション活動）	下記のとおり事前キャンプ受入に向けて誘致プロモーションを実施。 ・東京2025デフリンピック — R7.5 デフ陸上オランダ・スイス代表選手 ・愛知・名古屋アジア競技大会2026 — R7.11 タイカヌー・ローイング協会 R8.2 タイバレーボール協会 ・世界剣道選手権2027東京大会 — R8.2 タイ剣道クラブ

課名	事業名	内 容
コンベンションチーム	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（視察招聘）	・R7.4 世界水泳選手権2025シンガポール大会事前キャンプに向けた視察及び、カナダ水泳連盟関係者とMOUを締結 ・R8.3 ワールドユニバーシティゲームズ2027韓国大会および世界陸上2027北京大会事前キャンプ誘致に向け、ニュージーランド陸上関係者3名を視察招聘
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（事前キャンプ受入）	下記のとおり3件の海外代表事前キャンプを受入。 ・世界水泳2025シンガポール大会 — R7.7.17～24 競泳カナダ代表（45名）@SAGAアクア 他 ・東京2025世界陸上 — R7.9.3～9 プリーエミネンスチーム（13名）@SAGAスタジアム ・東京2025デフリンピック — R7.11.3～13 デフ陸上オランダ・スイス代表（2名）@SAGAスタジアム
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（交流事業等）	・競泳カナダ代表、プリーエミネンスチームの事前キャンプで公開練習やサイン会を実施、カナダは約1200名、プリーエミネンスチームは約800名の県民が来場 ・デフ陸上オランダ・スイス代表事前キャンプで、小学生陸上クラブや県内パラ陸上選手、ろう学校児童・生徒との交流事業を実施
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（おもてなし向上）	海外代表事前キャンプ受入時に名尾和紙扇子やチームロゴ入り丸ぼうろなど県産品を贈呈
観光課	外国人観光客誘致対策事業（（一社）佐賀県観光連盟事業費補助）	（1）外国人観光客誘致対策事業 ○韓国人観光客誘致 ・セールスプロモーション11回（国内・韓国） ・旅行会社等の招請16件（韓国旅行会社の支店等） ・旅行会社等とのタイアップ8社 ・佐賀空港接続バス特別利用提供プロモーション（6～9月） ・カレンダー及びポスター広告協賛 ・観光説明会・商談会開催（韓国） ・韓国語版ホームページ運営 ・公式ブログ運用、公式インスタグラム運用 ・佐賀県公式PRサポーターズを活用した情報発信（5名、60件） ・韓国語ガイドブックの内容更新及び増刷（6,000部） ・韓国語観光ガイドブックの福岡空港国際線観光案内所内設置 ・旅行専門マガジンのコンテンツを活用したプロモーション ・個人誘客向けキャッシュバックプロモーション ・韓国旅行業界紙におけるBtoB及びBtoC向け広告掲載
		○中国人観光客誘致 ・セールスプロモーション17件（国内・中国） ・旅行会社等の招請9件（国内・中国旅行会社の支店等） ・上海公共交通を活用した佐賀県認知度向上プロモーション ・上海-佐賀便向け佐賀県内日帰りツアー販促事業 ・旅行会社等とのタイアップ10社 ・旅行博出展等6件（中国） ・中国上海における上海春秋国際旅行社との連携プロモーション（広告タイアップ等） ・簡体字版ホームページ「佐賀ー純粋日本」の運営 ・微博（ブログ）の運営 ・佐賀県公式小红书（RED）アカウントを活用したユーザー投稿促進キャンペーン ・佐賀県観光地図（簡体字）の増刷（4,000部×3種） ・公式WeChatの運営管理によるプロモーション ・貸切タクシーを活用した佐賀観光認知度向上事業
		○香港人観光客誘致 ・セールスプロモーション8件 ・旅行会社等の招請4件 ・Googleビジネスプロフィールを活用した誘客促進セミナーの開催 ・旅行会社とのタイアップ1件 ・旅行博出展等4件 ・繁体字版Facebookページの運営 ・香港向けインフルエンサーを活用したプロモーション ・香港旅行会社ホームページを活用した情報発信 ・香港人向け訪日旅行情報サイトNippon Sensorにおいて佐賀県観光情報を発信

課名	事業名	内 容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (（一社）佐賀県観光連盟事業費補助)	○台湾人観光客誘致 ・セールスプロモーション8件 ・旅行会社等の招請3件 ・観光プロモーション等に関する取材対応2件 ・旅行会社等とのタイアップ5社 ・現地配置スタッフによる情報収集、旅行商品造成に向けた促進活動等 ・インフルエンサーを活用した情報発信 ・去趣 (chic trip) アプリを活用した情報発信 ・観光説明会・商談会の開催 (台湾) ・旅行博等出展3件 ・繁体字版Facebookページの運営 ・繁体字版ホームページ「元気佐賀」の運営 ・旅奇広告を活用した情報発信 ・各種パンフレットの更新及び増刷 ・「楽吃購！日本」を活用したプロモーション ・タイガーエア台湾機内誌等への記事出稿 ・台湾アイドルグループ「F.F.O」による佐賀県プロモーション ・台湾におけるFIT誘致に向けた動画制作等 ・旅行商品造成プロモーション5社
		○東南アジア観光客誘致 ・セールスプロモーション15件 (国内・タイ・シンガポール・ベトナム・マレーシア) ・旅行会社とのタイアップ10社 ・ファムトリップ3件 (旅行会社、インフルエンサー) ・旅行博等出展6件 (タイ・シンガポール・マレーシア・ベトナム) ・個別商談会5件 (タイ・ベトナム) ・タイ語Facebookの運営 ・タイ観光客集客プロモーション向けのタイ語パンフレット更新及び増刷 ・ベトナム観光客集客プロモーション向けのベトナム語パンフレット更新及び増刷 ・ベトナム観光客集客プロモーション向けのベトナム語マップ (50,000部) 制作 ・シンガポール団体誘客向け広告プロモーション ・インバウンド誘客促進のための映像制作等
		○欧米豪地域観光客誘致 ・セールスプロモーション6回 (国内、オーストラリア) ・ファムトリップ11回 ・佐賀県高付加価値化事業に係るパリエント (フランス) ・公式英語版Facebook、Instagramの運営 ・英語版総合観光パンフレット更新及び増刷 ・九州5県および福岡国際空港(株)連携によるオーストラリアプロモーション
	外国人観光客誘致対策事業 (（一社）佐賀県観光連盟事業費補助)	○市場を超えた観光客誘致対策事業 ・アジア圏において利用率が高いOTA「Agoda」と連携した誘客キャンペーン ・佐賀県の宿泊一覧ページ、特集記事 (英語・繁体字・タイ語) の作成・掲載および誘導広告 (オンライン) の配信 ・県内宿泊施設を利用する際に使用可能な宿泊割引クーポンキャンペーン (1施設1人あたり30%割引：上限6,000円) (2) 受入環境整備事業 ○観光客受入環境整備支援事業 ・多言語化整備補助金1件 ・バリアフリー化整備等補助金3件 ・タクシー観光モデルコースの改修 ・観光パンフレット「ほとめき」へのタクシーコース掲載 ・宿泊施設や観光スポットに対するバリアフリー対応状況調査 ・バリアフリー対応観光モデルコースの紹介 (Web) ○食の多様性にかかる情報発信事業 ・佐賀県観光公式サイト掲載のベジタリアンメニュー紹介ページのリニューアル ・インバウンド向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE」記事掲載 (3言語) ○バリアフリー観光促進事業 ・身体の不自由な高齢者や障がいのある方が円滑に県内を旅行できるよう、観光施設等の情報収集および発信 ・環境や設備が整っていないくても、多様な人々が相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支えあう「心のバリアフリー」の普及推進 ・心のバリアフリー認定申請サポート・推進業務 ・ユニバーサルデザイン化支援相談窓口業務 ○おもてなし環境向上支援事業 ・佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会の運営 (研修会の実施等)

課名	事業名	内 容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (（一社）佐賀県観光連盟事業費補助)	○観光客等サポートサービス事業 ・言語コミュニケーションの問題により、円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするため、通訳サービスが可能なコールセンターを委託 ・九州佐賀国際空港へ壺侍顔はめパネルを設置 ・壺侍グッズの配布および着ぐるみの貸出し等によるPR促進
		○おもてなし環境充実事業 ・九州佐賀国際空港にて観光案内所を運営し、多様化する観光客のニーズに応じて県内外の様々な情報を提供 ・佐賀空港発着便を利用し、県内に宿泊する旅行商品を造成・販売した旅行者等への補助金事業
	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	北部九州3県及び山口県と韓国1市3道（釜山広域市、慶尚南道、済州特別自治道、全羅南道）で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第32回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のための各種事業を実施 ○日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議：R7.7.24 ○日韓観光客誘致交流FAMツアー事業：R7.9.23～R7.9.25 日本（山口県、福岡県、佐賀県、長崎県）にて日韓海峡沿岸8県市道所在の旅行会社等を対象にアウトドア交流事業を組み入れたFAMツアーを実施
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業（教育改革推進加算）	私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」及び「外国人入学生の実入りのための環境整備」に関する経費について補助額の加算を行った。それぞれ1校あたり900千円及び800千円を上限に加算した。 【次世代を担う人材育成の促進】 ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への留学に係る費用の助成等 【外国人入学生の実入りのための環境整備】 ・外国人生徒を受け入れるために必要な校内サインの設置 ・通訳やサポート人材の配置
自治修習所	県職員外国語習得支援	グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。 ・自己啓発活動支援事業（語学スクール受講等経費助成：5名） ・自己啓発活動支援事業（外国語検定試験受験経費助成：21名） ・自己啓発活動支援事業（外国語自主学習会活動経費助成：該当なし）
有明環境再生センター環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）と九州北部3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 ○共同事業「日韓8県市道環境政策・研究事例発表会」の実施 R7.7.17（山口県）
産業人材課	佐賀県外国人材雇用サポート事業	県内企業が外国人材を採用し活躍できる環境を実現できるよう以下を実施した。 ○採用から定着まで雇用に係る相談窓口の運営 相談受付件数168件（稼働日176日） ○企業向けセミナーの開催 6回実施、延べ参加企業157社 ○県内企業と外国人留学生の外国人材雇用をテーマとし、マッチングを目指した交流会や合同企業説明会の実施 R7.6.19交流会実施（参加企業31社、参加留学生100名） R7.10.25合同企業説明会実施（参加企業22社、参加留学生105名）
	佐賀型ドライバー人材受入チャレンジ事業	海外からトラックドライバーの外国人材を試験的に受入れ、そのノウハウの共有を進めることで、県内運送業界の横展開を図り、人手不足の改善につなげることを目的とし、タイから特定技能の試験に合格したドライバーを人材会社を通じ県内企業において3名受入れ、入国に向けての各種手続きを支援。また、日本に入国後、トラックドライバーに必要な免許取得や日本語講習、外免切替のための筆記試験対策、運転技術講習を実施。 ○受入れ企業1社・入社者3名（タイ人）
	産業人材ステーション事業	県庁新館1階に「佐賀県のしごと相談室」を設置し、外国人材とそれらの人材を求める企業とのマッチング支援を実施（他Uターン転職希望者・シニア人材が対象）。相談窓口機能の強化を図るため、R1.6月から専任相談員を配置するとともに、隔週に1日、佐賀県在住の外国人材が多く集まる国際交流プラザに派遣。R7年度における就職支援人数26名、就職決定人数6名。

課名	事業名	内 容
流通・貿易課	輸出開拓・促進事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	「さが県産品流通デザイン公社」が県産品のさらなる海外販路拡大を目指し、新たな販路獲得のため、以下の事業を実施した ・香港レップによる現地活動 ・中国向け佐賀県産酒類等輸出販路促進拡大事業 ・中国華南、華東エリアにおける佐賀酒販路開拓業務委託 ・食品関連事業者のための一歩踏み出す海外展開セミナー ・佐賀県内事業者対米輸出支援事業 ・メキシコにおける佐賀県産品の消費拡大事業
	海外市場における佐賀ブランド確立事業 (実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社)	○佐賀県農林水産物等輸出促進協議会 佐賀牛や青果物等の輸出促進を図るため、JA等と連携し、海外でのプロモーション等を行った ・香港・マカオ －小売店、飲食店、百貨店、スーパー等での佐賀牛、青果の販売フェア －食品展示会での佐賀県産果物、佐賀牛の販売プロモーション －在香港総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにおける佐賀牛及び佐賀酒のPR ・シンガポール －小売店におけるいちごさんフェア ・フィリピン －飲食店、ホテル、百貨店での佐賀牛フェア ・台湾 －飲食店での佐賀牛フェア ・アメリカ －現地輸入事業者の協力のもと、日系小売店で佐賀牛の販促を実施 －県が行った佐賀牛PR事業で販促資材を提供
	佐賀酒販路開拓促進事業 (実施主体：佐賀県酒造組合)	佐賀酒ファン獲得及び販売促進プロジェクト事業として、佐賀県酒造組合に補助金を交付し、以下の取組を支援 ・佐賀酒輸出を強化している台湾における商談会（10蔵参加） ・新たにタイに挑戦する酒蔵を含む12蔵による商談会
	貿易振興事業	本県における貿易の振興を図るため、ジェトロ佐賀と連携し以下を実施 ・貿易実務講座 ・米国スーパーマーケット向け商談会 ・日本・台湾パートナーシップ強化セミナー ・港湾見学会（ものづくりグローバル研究会） ・日本酒バイヤー招聘・商談会
	佐賀牛海外ブランディングプロジェクト	佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得後、欧州への佐賀牛輸出がスムーズに開始できるよう、欧州での佐賀県産品の存在感を高める取組を実施 ・フランスにおける日本酒コンクール「Kura Master」にスポンサーとして参加 ・フランスの日本酒交流イベント「Salon du Saké」へのブース出展 ・アメリカの和食レストランにおける佐賀牛・佐賀酒PR及び知事トップセールス（8月） ・アメリカ・南加佐賀県人会120周年記念行事における佐賀牛・佐賀酒PR ・アメリカの和食レストランにおける佐賀酒PR（11月、佐賀牛輸出促進コンソーシアムとの連携事業） ・ポーランドの日本食材輸入・卸事業者の招聘 ・オランダの日本文化発信イベント「MONO JAPAN」における佐賀酒PR ・JETROバリ等主催イベントにおける佐賀酒PR ・在オランダ日本国大使館主催天皇誕生日祝賀レセプションにおける佐賀酒PR
	佐賀牛輸出促進コンソーシアム事業	佐賀県高性能食肉センターの欧州輸出の認証取得に向けて、佐賀牛の輸出関係者で組織する輸出促進コンソーシアムでの取組を支援 ・アメリカ・ロサンゼルスでの和食レストランにおいて、佐賀牛を使用した特別メニューを期間限定で提供。県事業と連携し、佐賀酒もPR。
	EU・アジア食市場開拓ハンズオン支援事業費	EU及びアジアへの輸出拡大を目指す事業者を支援する取組を実施 ・酒類の国際コンペティションへの出品に必要な経費の一部の補助 ・シンガポール及び台湾における市場開拓に向けたハンズオン事業の実施（実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構 さが県産品流通デザイン公社）
	陶磁器等海外市場開拓支援事業費	海外市場における陶磁器等産地事業者の商流確立と販路拡大を支援するため、テストマーケティング等を実施。 ・アメリカ - 伝統工芸品の展示販売会及び知事参加PRレセプション開催 ・台湾、シンガポール - テストマーケティング開催 ・タイ王国、香港 - バイヤー等招聘

課名	事業名	内 容
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	日本側４県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国側１市３道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議に参加 ・日時：R7.10.27～29 ・場所：韓国 済州特別自治道 ・出席者：韓国側14名（釜山広域市２名、全羅南道３名、慶尚南道２名、済州特別自治道６名、通訳１名） - 日本側17名（山口県４名、福岡県４名、佐賀県４名、長崎県４名、通訳１名）
		○日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。 ・日時：R7.11.26～28 ・場所：韓国 済州特別自治道 ・出席者：韓国側16名（漁業者８名、済州特別自治道７名、通訳１名） - 日本側13名（漁業者７名、山口県１名、福岡県２名、佐賀県１名、長崎県１名、通訳１名） ○日韓水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗放流を放流した。 ・日時：R7.10.28 ・場所：韓国 済州特別自治道 ・放流数：イシダイ 2,000尾
建設・技術課	外国人材の活躍推進事業	○外国人材育成セミナー（出前講座） 外国人材を「建設業の未来をともにつくる仲間」として育成し、現場で求められる安全意識・コミュニケーション・マナー等の理解を深め、定着と戦力化を図るとともに、企業側の育成・受入体制の意識向上を目的として実施。 ・実施日：令和8年2月26日、3月7日、3月14日（計3回） ・実施場所：受講企業の会議室等 ・参加者：計20名（外国人材11名、日本人社員9名）
		○外国人材雇用セミナー 佐賀県内建設業者が抱える深刻な人手不足の解消に向け、外国人労働者の受入制度や雇用に関する基礎知識、建設業特有の留意点を学ぶ機会を提供し、適正な外国人材雇用の促進と持続可能な人材確保を支援することを目的に実施。 ・実施日時：令和8年3月17日（火）13:30～16:00 ・実施場所：佐賀商工ビル 4階 401・402 ・実施方法：ハイブリッド形式（対面・Zoom） ・参加者：36社 49名
教育振興課	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業	グローバル化の進展に対応するため、国際的視野を持ち、外国語によるコミュニケーション能力を有する小学校高学年及び中高生の育成事業を実施した。 ・中、高校生の海外留学等への助成 ・グローバル人材育成のための講師派遣事業、グローバル・デイ、国際理解キャンプ等の実施 ・ホストファミリーバンクの整備、留学や海外からの学校交流の受入促進事業を実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、アイルランドから16名の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。
	外国語指導助手指導力等向上研修	外国語指導助手および日本人英語教師を対象に、効果的な語学指導に必要な知識と技能の向上を目的とした参集型研修会を実施した。（R7.10）

(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業（令和7年度）

事業名	内 容
情報収集・提供	外国人住民に対する地域情報の提供及びコミュニケーション支援、特に災害時や緊急時の情報発信・情報共有に役立てるため、広く県民や外国人住民が利用できる情報ネットワークを構築するとともに、ホームページやFacebook等を通じ、多言語で情報発信を行った。
情報紙「Hello Saga」の発行（外国人向け）	外国人住民に対するコミュニケーションのため、防災・交通安全やさまざまな生活情報をFacebookで配信した。
SPIRA日本語スピーチコンテスト	外国人住民の日本語学習促進のため、日本語学習の成果発表の場となる日本語スピーチコンテストを実施した。 日時：R7. 10. 12 参加者数：青少年部門4名、成人部門13名 計17名
地域日本語教室支援事業	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、外国人住民に日本語指導を行う地域日本語教室に対し、教材費等の教室運営に要する経費の助成や広報支援を行った。 広報支援：26グループ、費用助成：11グループ
日本語ボランティア研修会	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語指導ができるボランティアを養成するための研修会を実施した。 日時：R8. 1. 17、1. 22、1. 29 講師：NPO多文化共生プロジェクト 代表 深江新太郎氏 佐賀県多文化共生さが推進課 市丸佳代子氏 参加者数：延40名
教育支援事業	日本語学習サポーターや子ども通訳サポーターの派遣、及びサポーター養成講座を実施した。 派遣実績：子ども日本語学習サポーター 17件 子ども通訳・メンタルサポーター 12件 子ども日本語学習サポーター養成講座 日程：R8. 2. 5、2. 11、2. 21、2. 26 講師：久留米大学 ランプクピティア ディヌーシャ氏 他3名 参加者数：延71名
情報誌「Hello Saga」の発行（日本人向け）	県内の国際交流・協力や多文化共生事業に関する情報誌を作成し、情報提供を行った。 発行：年4回 各2,000部 配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA出前講座	異文化や多文化共生、国際協力の理解促進のため、県内在住の外国人住民や協会職員、県内民間国際協力団体の海外経験豊富な日本人を講師として派遣・紹介し、外国の習慣や文化、多文化共生に関する講座を開催した。 派遣件数：73件 派遣講師数：93名（延べ） 受講者数：6,331名
国際交流・協力イベント事業	国際交流・協力・多文化共生に対する理解を深め、活動への参加を促すため、県内の民間国際交流団体やボランティアと協働し、国際交流・協力イベントを実施した。 ○国際フェスタ 日時：R7. 10. 5 場所：うれしのまるく（嬉野市） 来場者約4,000名 ○Sagan World Cup 2024（フットサル大会） 日時：R7. 12. 21 場所：駅前不動産スタジアム（鳥栖市） 参加者：24チーム（32か国 約280名）
多文化共生等助成事業	県内の多文化共生の地域づくりのため、県内の国際交流団体等が行う多文化共生事業、国際交流事業、国際協力事業に要する経費の一部を助成した。 助成件数：多文化共生事業 7件 国際交流・協力事業 3件
多文化共生情報発信事業	多文化共生の地域づくりを促進するため、県内の外国人住民やボランティアをゲストに迎え、多文化共生に関するさまざまな情報をラジオ番組により発信した。 ラジオ放送（えびすFM） 毎月1回（年間12回）

(3) 市町の事業（令和7年度）

市 町 名	事 業 名	事 業 の 概 要
佐 賀 市	・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・日本語学習推進事業 ・ウクライナからの避難民支援 【民間団体等の主催事業】 ○佐賀市国際交流協会 ・国際理解講座 ・在住外国人によるパネルディスカッション ・市内留学生、技能実習生オリエンテーション ・国際家庭料理講座 ・子育て支援事業	・国際交流員（CIR）1名 ・私費留学生に対し、月額 20,000 円を助成 ・教育交流訪問団受け入れ（中高生 20 名、引率 5 名）、派遣（中高生 19 名、引率者 5 名） ・民間交流である佐賀市内小学校と蓮堤区のトヒョン初等学校との交流において、児童訪問団が蓮堤区へ派遣される活動の一部を支援 ・公式訪問団を派遣（中学生 6 名、引率者 3 名） ・地域日本語教室を実施（計 8 回） ・日本語学習支援ボランティア養成講座を実施（計 3 回） ・佐賀県と CSO（民間団体）と佐賀市の 3 者で避難民の受入支援プログラム（SAGA Ukeire Network）を構築し、避難民支援を実施 ・多文化理解・多文化共生講座 2 回開催。国際ワールドツアー音楽編として、参加型演奏会を開催。ミャンマー編として、「日本の相互理解について」と題し、講座を実施（参加者数 42 名） ・在住外国人をパネリストとして迎え、「大切にしている行事」をテーマとし実施（参加者数 30 名） ・佐賀女子短期大学・西九州大学・短期大学の新入留学生及び技能実習生を対象に、防災・交通安全など日常生活オリエンテーションを開催（参加者数 270 名） ・料理を作りながら交流を深めるために、アメリカ料理講座、精進料理講座、中国料理講座を開催（参加者数 48 名） ・参加者同士のネットワークの構築に努めるために、外国に繋がる子どもと保護者を対象に、困りごとに関する相談会を開催（参加者数 26 名）。また、新 1 年生になる子どもを持つ保護者を対象に、入学準備に向けたサポートを佐賀市教育委員会と連携し開催 ・NPO 法人さが子ども多文化センター・わーるどりんぐ（市民団体）と共催で、保護者の悩みを聞く場や子ども同士の交流からネットワーク構築を図るため、意見交換会やワークショップを開催（参加者数 205 名）

	・バルーンフェスタホームステイ事業 ・スポーツ交流会 ・初級日本語集中講座	・「2025 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」開催時に外国選手チームのホームステイのアレンジ（受入人数 58 名 14 か国） ・バドミントン、卓球、バスケット他軽スポーツを通して市民との親睦を図るための交流会を開催（参加者数 44 名 8 か国） ・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国人を対象に、日本語集中講座を 2 回開催した。（受講者数 7 名）
唐 津 市	・日中韓囲碁大会 ・第 1 回青少年グローバル共感キャンプ ・第 16 回済州国際青少年フォーラム ・「やさしい日本語」職員研修 ・青少年多文化国際ワークショップ 【民間団体等の主催事業】 ○（一社）唐津青年会議所	・姉妹都市である中国揚州市、韓国麗水市と囲碁を通じた交流大会を実施。三都市持ち回りで毎年開催しており、令和 7 年は唐津市で開催。（唐津市から 17 名が参加。）（R7. 10. 29～31） ・各国の中学生が済州島に集まり、英語で交流することで、グローバル感覚の向上や多文化理解の推進を目的として、済州特別自治道西帰浦市が開催。（唐津市から中学生 5 名が参加。）（R7. 8, 6～9） ・各国の学生が参加し、グローバル課題について討論することで、国際感覚の醸成と文化的多様性に対する相互理解の促進を目的として、済州特別自治道教育庁が開催。（唐津市から高校生 3 名、教師 1 名が参加。）（R7. 10. 28～11. 1） ・窓口や公文書を作成する際に外国人に配慮した対応ができるよう、窓口対応職員などを対象に「やさしい日本語」研修を実施。（市職員 25 名が参加）（R7. 11. 13） ①唐津ボランティアガイドさんに聞く、「唐津の魅力を知りたい、教えたい」（英語編） 長期にわたり外国人観光客向けに観光ガイドを実施されている、唐津ボランティアガイドを講師として、「外国の人からみた唐津を知りたい」「外国の人に教えたい唐津」をテーマにワークショップを開催。（市内中高生 18 名が参加）（R7. 6. 22） ②からつ多文化交流会 唐津東高校の総合探求の授業において、「多文化共生の地域づくり」をテーマに学習する生徒たちと市内日本語教室に通う外国人との交流会を実施。（日本人 26 名、外国人 19 名が参加）（R7. 8. 24） ③からつ多文化交流モルック大会 体力や運動神経などに関係なく、誰もが参加しやすいスポーツであるモルックを通して、市内の日本人と外国人が交流するイベントを実施。（日本人 23 名、外国人 29 名が参加）（R8. 3. 1） ・唐津及び麗水の青年会議所による交流事業で、交互に開催地となっていく交流事業であり、令和 7 年度は麗水青年会議所会員

	○NPO 法人 博心館 ○まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 ○からつ日本語教室 ○唐津ボランティアガイド	とその家族を唐津に招き、観光案内と民泊体験を提供。(40 名が参加) (R7. 7. 26～27) ・子供向けの英語講座やハロウィン、クリスマスイベントなど、子供たちが外国語や外国の文化に楽しく触れることが出来るイベントを実施。(30 名が参加) (R7. 8. 30、R7. 10. 31、R7. 12. 26、R8. 1. 31) ・百済武寧王を通した韓国公州市との交流(加唐島での武寧王生誕祭の開催、韓国で開催される百済文化祭への参加)(33 名が参加) (R7. 10. 2～5) ・日本語教室に通う外国人生徒の方々に、茶道教室を体験してもらい、日本語による会話の機会と日本文化の価値観を提供。(8 名が参加) (R7. 7. 20) ・近年の国際情勢やオーバーツーリズムなど、外国人と観光に関について考え、それらを踏まえて唐津における今後のインバウンドについての議論を実施。(90 名が参加) (R7. 11. 29)
鳥 栖 市	・鳥栖・ツァイツ子ども交流事業 ・国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ ・外国人のための日本語教育事業 ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」 ・やさしい日本語クイズ ・がいこくじんのかたへ	・鳥栖市の学生 9 名と引率 2 名を派遣。ホームステイを通じて交流を図った (R7. 7. 19～8. 3) ・市内の国際交流団体との会議を開催 (5 回)。 ・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」を 3 回開催。 < 1 回目 > 街歩きイベント「とす長崎街道まつり」に参加 (日本人及び海外 5 か国から 44 名が参加) (R7. 10. 19) < 2 回目 > まちづくり推進センターで、スピーチやジェスチャーゲームなど、日本人と外国人の交流会を実施 (日本人及び海外 6 か国から 54 名が参加) (R7. 11. 29) < 3 回目 > 市内の商業施設の舞台で各国の踊りや音楽等を披露するショーを開催。 (日本人及び海外 8 か国から 33 名が参加) (R8. 2. 8) ・「生活者としての外国人」のための日本語教室を実施(全 18 回、外国人延べ 50 名/にほんごパートナー延べ 96 名参加) ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」を市報の奇数月号に掲載 ・やさしい日本語クイズを市報の奇数月号に掲載 ・市ホームページに、生活情報や各種相談、自転車のルールなどについて、やさしい日本語と多言語で掲載

	・ 出前講座 ・ 「やさしい日本語」職員研修	・ 市職員が地域に出向き、多文化共生や「やさしい日本語」について説明（①R7. 5. 27・58名、②R7. 6. 9・16名、③R7. 9. 14・25名、④R7. 12. 13・39名、⑤R7. 12. 15・22名、⑥R8. 2. 15・15名） ・ 市役所の職員を対象に、「やさしい日本語」職員研修を開催。その際に市内の日本語学校の留学生も参加して「やさしい日本語」を使った実践での会話の練習を実施（参加者数 25名、留学生 5名）（R7. 11. 6）
多 久 市	・ 外国青年招致事業 ・ 国際交流事業 ・ 義務教育学校における短期留学生制度事業 ・ 多久日本語教室	・ 外国語指導助手（ALT）3名の活用 ・ アートを通じ、日本語でいろいろな国の人とふれあう「国際交流ワークショップ in TAKU」を開催（参加者 39名） ・ 市内義務教育学校生徒（8年生 2名）がアメリカで短期間ホストファミリー宅に滞在 ・ 地域に居住された外国人に日本語の教室（週 1回）
伊 万 里 市	・ 地域日本語教室	・ 市営地域日本語教室「Awesome IMARI」計 18回実施、延べ参加者数 1,159名。 <第 1回> 「牧島小学校との交流会」、参加者 152名（R7. 6. 15） <第 2回> 「海洋プラスチック国際交流プログラム」、参加者 96名（6. 29） <第 3回> 「ジョイントコンサート」、参加者 105名（7. 27） <第 4回> 「いまりんビーチクリーン&波多津交流会」、参加者 30名（8. 5） <第 5回> 「伊万里中学校との交流会」、参加者 208名（9. 18） <第 6回> 「山代町との交流会～e スポーツを通して」、参加者 33名（9. 20） <第 7回> 「交通安全教室」、参加者 41名（9. 21） <第 8回> 「伊万里を知る～台湾森永キャラメル限定シリーズ商品プロモーション」、参加者 3名（9. 21） <第 9回> 「国際フェスタ IN 嬉野」、参加者 27名（10. 5） <第 10回> 「ビジネスマナー講座」、参加者 28名（10. 11） <第 11回> 「駒鳴集落を守る会との交流会」、参加者 19名（10. 12） <第 12回>

		「キムチ教室」、参加者 32 名 (12. 4) <第 13 回> 「防災×ネットワーク～食べて、語って、学ぼう」、参加者 62 名 (12. 21) <第 14 回> 「韓国柳韓高校と伊万里高校の交流会」、参加者 83 名 (R8. 1. 15) <第 15 回> 「新春ボウリング大会」、参加者 70 名 (1. 17) <第 16 回> 「韓国柳韓高校と東陵学園の交流会」、参加者 85 名 (1. 20) <第 17 回> 「国際交流ひろば」、参加者 52 名 (2. 8) <第 18 回> 「着付け教室&ひなまつり」、参加者 33 名 (3. 1)
○伊万里市国際交流協会	・ 日本語指導者養成講座 (オンライン)	・ 講師：文化庁地域日本語教育コーディネーター しょう けつ 章 潔 (4. 7～R8. 3. 16 の毎週月曜日 10:30～11:30、計 30 回、受講者 12 名。) ・ 第 1～15 講：日本語の文法～基礎 ・ 第 16～30 講：日本語の文法～応用
○伊万里市日中友好協会	・ 大連市訪問	・ 大連市中日友好協会からの招聘に、市日中友好協会の 17 名が「第 7 回中日 (大連) 十都市千人アカシアウォーキング大会」に参加 (5. 17～20)
○伊万里市国際交流協会	・ 中国語教室	・ 中国語教室が市民活動支援センターで開講 講師：市多文化共生マネージャー (全日本中国語スピーチコンテスト佐賀県大会審査員長) 章 潔 (7. 8～11. 18 の毎週火曜日 13:30～14:30、計 14 回、受講者 13 名)
	・ 英語教室	・ 英語教室が市民活動支援センターで開講 講師：市外国語指導助手 フィニクス・テイラー (7. 23～12. 17 の毎週水曜日 18:30～19:30、計 20 回、受講者 25 名)
	・ 市民公開講座	・ 第 8 回「中国を知る」市民公開講座 (計 3 回) 開催 講師：市多文化共生マネージャー 章 潔 ① 中国仏教の始まり (10. 30、受講者数：6 名) ② 隋・唐・宋の仏教黄金期 (11. 6、受講者数：7 名) ③ 近現代の中国仏教 (11. 13、受講者数：6 名)
○佐賀県日中友好協会	・ 中国語スピーチコンテスト	・ 「第 43 回全日本中国語スピーチコンテスト佐賀県大会」に、伊万里市中国語教室から計 3 名が参加 (9. 27) 【一般・朗読の部】：吉永 雅子 (第 2 位) 【一般・暗誦の部】：佐藤 和幸 (第 1 位) 光富 義仁 (第 2 位)

	○日韓友好協会 ・クリスマスフェスタ	・日韓友好協会主催の「クリスマスフェスタ」が JR 伊万里駅前公園で開催。参加者約 300 名（12. 6）
武 雄 市	・外国人なんでも相談窓口の設置 ・人づくり・まちづくり事業補助金 ・C I R の活用 ・A L T 主催のクリスマス会 ・多文化共生タウンミーティングの開催 【民間団体等の交流事業】 ○たけお日本語教室 ○たけおワールドフレンズ（TWF） ○ICE-T ○T to A ○如蘭塾	・平日（土日祝日除く）の 9 時から 17 時に開設し、やさしい日本語で対応。その他言語は、県の機関と連携し対応。 ・国際交流事業として、個人または団体の旅費に対し、補助対象者 1 名につき 80, 000 円（支給条件あり） ・2025 年 7 月から任用開始。Instagram での情報発信、地域イベントへ出向いての交流を実施。 ・毎年 12 月に、市内小学生に希望者を募り、教育委員会（A L T）主催で交流イベント開催。C I R も参加。 ・県と共催で、在住外国人と日本人の交流の場として開催。（全 3 回） ・毎月第 1、第 2、第 3 土曜日にボランティア運営で在住外国人向けの日本語教室を開催。 ・1985 年から旧山内町とセバストポール市（アメリカ）で国際姉妹都市協定を締結（2011 年に新市で再締結）。青少年の交流を中心に活動している。 R8. 3 月に武雄市より、中学生 20 名、引率 3 名、大人 10 名がセバストポール市に滞在し、交流を深めた。交流 40 周年を記念し、40 周年記念式典及び記念植樹を行った。 ・食文化やスポーツを通じた日本人と在住外国人との交流イベントの開催。 ・小中学生を中心に、武雄温泉駅構内で、英語での観光ボランティアを実施。 ・1942 年に中国東北部（旧満州）の子女を日本に留学させるため、寄宿舎を併設する学校として日満育英会・如蘭塾が設立。以降、日中相互の理解を深めるための教育活動として、大学生への奨学金の給付や日中友好交流事業などを実施してきた。高校生の海外派遣事業はコロナ禍の影響で 2020 年から中止している。
鹿 島 市	・釜山外国語大学校との交流 ・外国青年招致事業	・第 41 回鹿島ガタリンピックに教授・学生ら 37 名が参加、釜山外大韓国語短期研修に鹿島高校生 1 名が参加、釜山外国語大学校へ訪問（市から 5 名） ・外国語指導助手（ALT）2 名の活用

	・多文化共生防災セミナー	・地元企業に加え、市外学生や SAGASOT（地球市民の会）などから外国人 5 か国 13 名を含む 6 か国約 20 名が参加し、防災について学んだ。参加者は過去に市で起きた災害について学んだあと佐賀県の防災アプリを自分のスマホに設定。また、備蓄品の名前が書かれた紙を使って防災バックに何を入れるかを考えるワークショップや日本の非常食も体験した。
小 城 市	・小中学校外国語講師活用事業 ・「やさしい日本語」職員研修 ・えいごのおはなし会	・外国語指導助手（ALT）の活用、民間講師 7 名（小・中学校の英語教育及び英語活動実施） ・人権・同和問題職員研修会にて、市内の在住外国人の現状と課題を知り、窓口等で外国人に配慮した対応ができるよう、市役所職員を対象に、「やさしい日本語講座」を開催 参加者 357 名（R7. 11. 19） ・アメリカ合衆国出身のボランティアの方と市民図書館が協働し、子どもたちが楽しみながら英語や本に触れられる機会として、英語絵本の読み聞かせやミニゲームなどを実施した。 （令和 7 年度：8 回開催、参加者：延べ 159 名）
嬉 野 市	・外国青年招致事業 ・在住外国人向け日本語教室 ・多文化ポッチャ交流会	・外国語指導助手（ALT）1 名の活用 ・国際交流員（CIR）1 名の活用 ・地域日本語教室「カフェこくさいじん」を実施（月 2 回） ・ICA 国際会話学院嬉野校の留学生と地域住民を対象にポッチャによる交流会を実施（R8. 3. 14）
神 埼 市	・国際交流事業 ・多文化共生事業 ・韓国霊岩郡交流事業	・「赤い翼プロジェクト」inEXP02025 大阪・関西万博（R7. 7） ・在日フランス大使館・フランス海軍 神崎市を訪問（R7. 10） ・やさしいフランス語講座の開催（R8. 1） ・韓国霊岩郡 朗州（ナンジュ）中学校と神崎中学校の交流 隔年で相互訪問を実施 令和 7 年度は朗州中学校が訪日 ・韓国霊岩郡 三湖西（サムホソ）中学校と千代田中学校の交流 隔年で相互訪問を実施 令和 7 年度は三湖西中学校が訪日 ・中国 山西大学附属中学校と脊振中学校の交流 隔年で相互訪問を実施 令和 7 年度は山西大学附属中学校生徒が脊振中学校を訪問 ・日本語教室の実施（毎月 1 回、計 12 回実施） ・友好交流協約締結のため 7 名訪韓（R7. 7. 14 締結）
吉野ヶ里町	・外国青年招致事業	・外国語指導助手（ALT）2 名の活用（在留外国人講師）

	・広報紙掲載 ・外国人と日本人の交流イベント ・教室活動のボランティア養成 ・地域日本語教室（交流型）開催 ・教室の広報活動 ・企業連携を見据えた活動	・1年間、町の広報誌に日本語教室コーナーを掲載 ・7月：外国人×日本人のしゃべり場を開催 ・6月：日本語教室ボランティア養成講座（2回） ・交流型日本語教室「meet up よしのが里」開催（R7.5～R8.3 計11回） ・7月～9月：学習型よしの日本語教室（計9回） ・11月：地域商工交流会で多文化講演会
基 山 町	・「やさしい日本語」研修会開催 ・基山町主催日本語教室の開催	・町職員向けに「やさしい日本語」研修会を開催 ・基山町に在住の外国籍町民を対象とした日本語教室を開催し、日本の交通ルールについて勉強を行った。
上 峰 町	・外国青年招致事業 ・オンライン英会話 【民間団体等の主催事業】 ・佐賀県教育振興課：グローバルデイ ・ALT 派遣アウルズ：English Day ・オンライン英会話セイハネットワーク：英会話体験プログラム	・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・フィリピン講師とのレッスン：小3～中3の全児童生徒対象（小3・4はグループレッスン、各学年年5回） （小5～中3まで1対1の対面式レッスン、各学年年8回） ・参加者97名（上峰小5年生、年1回） ・参加者302名（上峰小6年生、年1回） （上峰中1・2年生、年2回） ・学校教員研修オンライン英会話体験：参加者30名（上峰小教員）
み や き 町	・日本語教室 【民間団体等の主催事業】 ・国際交流食文化交流 ・国際交流そば打ち体験	・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（毎月1回） ・オーストラリア人出身の講師を招いてオーストラリア料理作りを実施 ・そば打ち体験を実施
玄 海 町	・外国青年招致事業 ・国際交流事業 ・英語活動 ・保小連携英語活動	・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・海洋教育の一環として、台湾の鼻頭小学校とオンライン交流を実施、また町に訪問団が来訪。 ・英語教育及び異国文化理解学習の実施（九州産業大学訪問（5・6年生）） ・友好姉妹都市の韓国釜山広域市機張郡の首長、交流のあるフランスグラブリーヌ町の首長、インターンシップを受け入れている釜山外国語大学校に対する挨拶状交換 ・玄海町花火大会への釜山外国語大学関係者の受け入れ ・週に1回、低学年を対象に英語あそびを実施 ・保育園及び玄海みらい学園で交流活動を実施

	・【民間団体等の主催事業】 ○（公）佐賀県国際交流協会 ・多文化共生理解出前講座 ・海外研修等助成事業	・2園合同での国際理解活動（アメリカデー、ハロウィン、クリスマス、イースター） ・月1回の英語活動 ・参加者数：130名（玄海みらい学園3～5年生児童） ・町内在住の小学5年生から中学生が民間等の留学プログラムに参加した場合、費用の一部を助成（参加者3名）
有 田 町	・外国青年招致事業 ・英会話教室 ・英語ガイド ・日本語教室 ・外国人対応セミナー ・国際交流員による来訪者案内 ・有田小学校とアリタ小学校マイセン姉妹校交流 ・【民間団体の交流事業】 ○陶都有田国際交流協会 ・英語ツアー ・外国文化ふれあい事業 ○有田マイセン友好協会による青少年相互訪問交流事業 ○西有田日韓交流クラブ「融和」による韓国金海市粉青陶磁器祭り30周年記念祝賀有田皿踊り交流事業	・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・国際交流員（CIR）1名の活用 ・有田町民などを対象に英会話教室を開催（毎週1回） ・有田観光協会が主催する、町内の観光ガイドを対象とした英語ガイド学習会にCIRを講師として派遣 ・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（毎週2回） ・有田を訪れる外国人のお客様への対応スキル向上を図るため、有田観光協会が主催する英語講座にCIRを講師として派遣（毎年1月～3月） ・ドイツなど諸外国からの表敬訪問時の通訳及び町内観光案内等 ・令和元年に設立され、令和5年度よりオンライン交流を実施しているアリタ小学校マイセンと有田小学校との間で令和6年度に姉妹校を提携。令和7年度もオンラインによる交流や干支のイラスト布の合同制作を実施した。 ・国際交流員が外国人を対象に英語による町内ツアーや、町内小学生向けの文化交流イベント等を実施 ・有田マイセン友好協会が、8年ぶりに青少年相互訪問事業を実施した。令和7年10月にマイセン市より訪問団7名（青少年5名・随員2名）が有田に滞在。また、令和8年3月には有田町より訪問団10名（青少年8名・随員2名）がマイセン市を訪問し、ホームステイを通して交流活動を行った。 ・西有田日韓交流クラブ「融和」は、金海市粉青陶磁器祭り30周年記念祝賀のため訪問団を結成し、令和7年11月7日～9日まで現地を訪問。皿踊りの披露など、交流活動を実施した。

大 町 町	・外国青年雇用 ・日本語教室「こりすくらぶ」 ・日本文化体験イベント「浴衣体験会」 ・防災×ネットワーク活動	・外国語指導助手2名の活用 ・町内在住外国人を対象とした日本語教室の開催 ※月2回のペースで開催（年24回） ・町内在住外構人を対象とした浴衣体験（ふるさと大町納涼祭り） ・地域おこし協力隊（災害関係）が町内在住外国人へ向けた災害に関する講話を実施
江 北 町	・外国青年招致事業 ・学校交流事業	・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・オーストラリアの学校との令和7年度の交流（受入）を実施。また、令和8年度の交流（派遣）に向け、担当者オンラインミーティングを実施
白 石 町	・外国青年語学指導助手設置 【民間団体の交流事業】 ・しろいし WA！WA！WA！日本語交流教室	・外国語指導助手（ALT）3名の活用 ・在住外国人への日本語交流教室及びイベントの開催。町とボランティア協働で実施 （令和7年6月にもちつき、12月にサテづくり交流会を実施）
太 良 町	・地域日本語教室「日本語ひろばたららんば」 ・太良町観光協会 YouTube「太良スタイル」 ・台湾台東県および大麻里郷の政府関係者による町内視察 ・令和7年度台湾市場向けプロモーション事業 ・サガシルグローバル Vol.3 留学生向け合同企業説明会への出展 ・太良町×台東県大麻里郷(台湾)国際交流プロジェクト	・町内在住外国人を対象にした日本語教室を毎月1回、計12回実施、延べ参加者数134名 ・日本語ひろばたららんば（R7.4開催分）紹介動画の制作、R7.6投稿 ・交流のきっかけとなった「多良駅」をはじめ、町内の観光施設や小中学校を視察（R7.6.16～17） ・台湾・香港等の繁体字圏を対象に、町内の飲食店で使用できるデジタルクーポン「太良町グルメパスポート」を発行し、プロモーションを実施 ・太良町観光協会が留学生向けの合同企業説明会に出展（R7.10.25） 説明会で情報を得た留学生が直接太良町観光協会へ問い合わせをし、採用につながった ・台湾のデザインチームが滞在し、地域住民と協働してデザイン活動や魅力発信を行う（R7.12～R8.2） R8.1.10 地域住民との交流会（台湾料理ふるまい） R8.2 太良町観光協会「観光ポスター」の作成

	・台湾交流事業	・台湾と日本の文化や習慣等について交流し、相互理解を深めるため、町立小中学校 4 校と台湾台東県の小中学校の児童生徒がオンラインで交流 - 学校ごとに 1～2 回のオンライン交流を行い、お互いの町や学校の紹介、相互の質問交流を行った
--	---	---

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数（令和8年3月31日現在）

・都道府県	43都道府県	176組
・市 町 村	市・区	1,361組
	町・村	331組
	合 計	1,868組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計
北米	アメリカ	27	367	77	471
	カナダ	2	42	28	72
中南米	アルゼンチン共和国			1	1
	コスタリカ		2		1
	ジャマイカ	1			1
	チリ		1		1
	パナマ		1		2
	パラグアイ		2		2
	ブラジル	11	36	11	58
	ペルー		2	3	5
	ボリビア	1			1
	メキシコ	3	5	3	11
欧州	アイルランド		1		2
	アゼルバイジャン		1	1	2
	イギリス	4	10	4	18
	イタリア	5	27	7	39
	ウクライナ		2		2
	エストニア		2		2
	オーストリア		27	4	31
	オランダ		9	2	11
	ギリシア		6	3	9
	クロアチア		3		3
	スイス	1	9	3	13
	スウェーデン		3	1	4
	スペイン	3	9		12
	スロバキア			1	1
	スロベニア		2		2
	セルビア		1		1
	チェコ		2	2	4
	デンマーク		4	2	6
	ドイツ	6	43	9	58
	ノルウェー		3	1	4
	ハンガリー		4	1	5
	フィンランド		2	3	5
	フランス	7	42	10	59
	ブルガリア		3		3
	ベラルーシ		1		1
	ベルギー		8		1
	ボスニア・ヘルツェゴビナ			1	1
	ポルトガル		7		2
	ポーランド			2	2
	モルドバ		1		1
	ラトビア		1	1	2
	リトアニア		3		3
	ルーマニア		2	1	3
	ロシア	11	33	4	48

(令和8年3月31日現在) (単位：件)

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計
大洋州	オーストラリア	6	78	23	107
	ニュージーランド		30	14	44
	バブアニューギニア		1		1
	パラオ	2			2
	マーシャル諸島			1	1
アジア	インド	4	3		7
	インドネシア	4	2	1	7
	カンボジア		1	1	2
	スリランカ		3		3
	タイ	2	4		6
	ネパール		3	1	4
	バングラデシュ		1		1
	フィリピン	1	16	9	26
	ブータン		1		1
	ベトナム	3	4	1	8
	マレーシア		3	1	4
	ミャンマー		1		1
	モンゴル	2	7	1	10
	韓国	20	124	28	172
	中国	47	293	43	383
	台湾		46	19	65
中東	アラブ首長国連邦	1			1
	イスラエル		1		1
	ウズベキスタン	1	1		2
	トルコ		5	2	7
アフリカ	ウガンダ		1		1
	エジプト	1			1
	カメルーン		1		1
	タンザニア		1		1
	チュニジア		1		1,808
合計		176	1,361	331	3,664

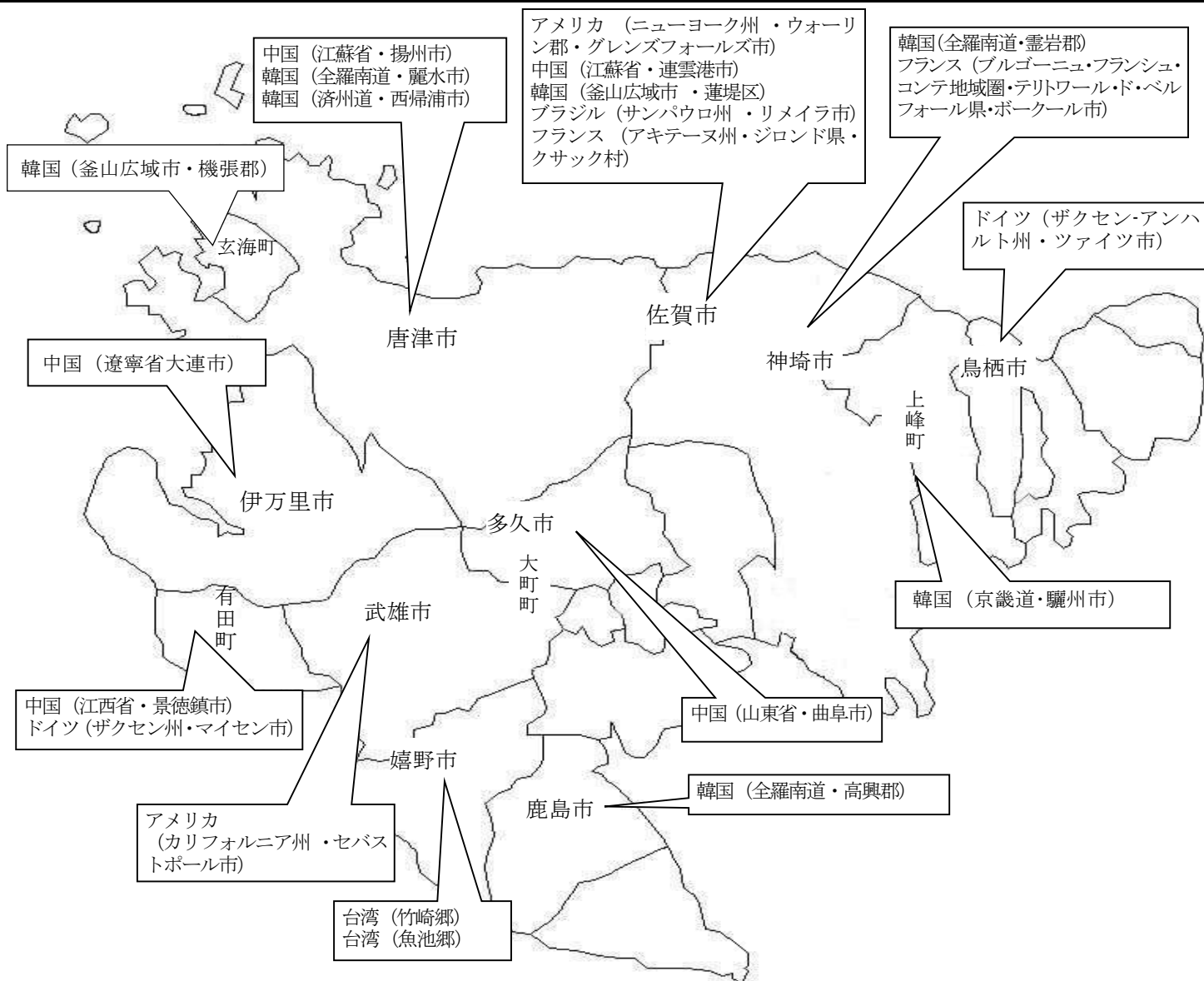
□相手国・地域数 75か国・地域（うち都道府県提携分 26か国）

調：一般財団法人自治体国際化協会

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国 県・市町	佐賀県		市町											計
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	嬉野	神埼	上峰	玄海	有田	
ア メ リ カ		1					1							2
中 国		1	1		1	1							1	5
韓 国	1	1	2					1		1	1	1		8
台 湾									2					2
フ ラ ン ス		1								1				2
ド イ ツ				1									1	2
ブ ラ ジ ル		1												1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	22



(イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀県	韓国 全羅南道 平成 23 年 1 月 25 日	平成 4 年から日韓海峡沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成 8 年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から 18 名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を 19 名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。
佐賀県 (参考)	* 中国 遼寧省 平成 23 年 10 月 25 日	平成 7 年から交流を開始。平成 11 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 7 名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から 13 名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。
	* 中国 貴州省 平成 24 年 2 月 13 日	平成 11 年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成 24 年からは職員交流を開始し、佐賀県から 3 名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から 5 名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する合意書を交わした。

* 中国（遼寧省）については友好姉妹都市連携ではなく「友好協力パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国（貴州省）については、「友好交流に関する合意書」を交わしている。

(ウ) 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 昭和 63 年 9 月 23 日	昭和 61 年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史・文化面でも共通点が多いことから姉妹提携に至った。
	韓国 釜山広域市・蓮堤区 平成 10 年 10 月 9 日	民間のゲートボール交流が始まりで、10 年来の交流が続いている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して姉妹都市の締結をした。
	中国 江蘇省・連雲港市 平成 10 年 11 月 27 日	徐福がきっかけで、平成 10 年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 昭和 56 年 4 月 16 日	双方に工場を持つ「味の素（株）」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、旧諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから姉妹都市提携した。
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県クサック村 昭和 63 年 4 月 19 日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサック村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹都市提携に至った。
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 昭和 57 年 2 月 22 日	昭和 47 年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、昭和 53 年の第 1 次から昭和 56 年の第 4 次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。
	韓国 全羅南道・麗水市 昭和 57 年 3 月 5 日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和 45 年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに、各種民間 5 団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至った。
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 平成 6 年 9 月 14 日	平成 3 年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたことがきっかけとなり、ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似ていたことから姉妹都市締結に至った。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
唐津市	＊中国 大連市旅順口区 平成16年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのために訪れたことがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至った。
	＊アメリカ合衆国 グアム準州 平成25年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流向書の締結に至った。
鳥栖市	ドイツ ザクセン＝アンハルト州・ツァイツ市 平成24年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フッペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(H24.5.17～22)
多久市	中国 山東省・曲阜市 平成5年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が宝永5年に孔子廟（現在呼称多久聖廟）を完成させた。その後、孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、昭和59年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 平成19年5月26日	昭和62年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流が続けている。交流20周年の節目にあたり、友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ、友好交流都市の締結をした。
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 昭和60年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏（女性）との交流の中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 平成9年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、昭和63年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。
嬉野市	台湾 竹崎郷 令和7年10月16日	嬉野市と竹崎郷（台湾嘉義県）は令和5年から台北駐福岡弁事処幹旋の下、意見交換等交流を進め、両地はともにお茶の産地であることから、令和7年10月「お茶を中心とした友好交流協定」を締結した。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
	台湾 魚池郷 令和7年11月7日	嬉野市と魚池郷（台湾南投県）は令和5年から台北駐福岡弁事処幹旋の下、意見交換等交流を進め、両地はともにお茶の産地であることから、令和7年11月「お茶を中心とした友好交流協定」を締結した。
神崎市	フランス ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域圏・ テリトワール・ド・ベルフォール県ボークール市 平成8年10月27日	昭和11年にフランスの飛行家アンドレ・ジャッピー氏が脊振山中に墜落し村民が救出したことから交流が始まり、平成7年6月にはボークール市を友好訪問、そして平成8年10月27日に友好姉妹都市の提携を結んだ。
	韓国 全羅南道・霊岩郡 令和7年7月14日	日本に「千字文」や「論語」を伝えたとされている王仁博士をきっかけに、2008年から韓国霊岩郡と相互交流が始まった。2016年には中学校間の姉妹校締結を行った。文化・教育に限らず、多方面での交流を図り、友好関係の深化につなげるため、2025年7月14日友好交流協約を締結した。
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 平成16年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 平成25年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、平成13年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、平成16年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め平成16年11月に友好都市締結。また、驪州郡が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結した。
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 平成21年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していくために友好交流協定を締結した。
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 昭和54年2月9日 (再調印) 平成3年9月21日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結した。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、平成3年に姉妹締結、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した平成18年に再調印した。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
	平成18年9月23日	
	中国 江西省・景德鎮市 平成8年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易往来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結した。

* 中国（大連市旅順口区）及びアメリカ合衆国（グアム準州）については、「友好交流意向書」の締結をしている。

（注）提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

(エ) その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 平成15年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第8回(平成4年)「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ1,000名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。
有田町	韓国 (社)韓国陶磁文化協会 平成8年8月28日 (再調印) 平成19年5月3日	(社)韓国陶磁文化協会と有田町については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後も陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互に協力するため、友好団体の盟約を締結した。

ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流（令和7年度）

（ア）大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	大韓民国	全南大学校	H3. 3. 8
	タイ王国	カセサート大学	H8. 12. 6
	大韓民国	慶国大学校	H9. 12. 11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10. 5. 15
	タイ王国	コンケン大学	H10. 9. 28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10. 12. 8
	大韓民国	国民大学校	H11. 3. 29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11. 4. 12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11. 11. 30
	大韓民国	釜山大学校	H12. 2. 2
	中華人民共和国	中国農業大学	H12. 10. 17
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家農業大学	H12. 12. 7
	インドネシア共和国	ハサスディン大学	H13. 3. 9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13. 4. 27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13. 8. 9
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13. 11. 1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13. 11. 6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13. 11. 12
	大韓民国	釜慶大学校	H14. 4. 18
	大韓民国	済州大学校	H14. 8. 9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14. 9. 13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14. 10. 8
	中華人民共和国	華東理工大學	H15. 4. 1
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15. 7. 1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15. 7. 2
	オーストラリア連邦	ラトロブ大学	H15. 7. 31
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16. 9. 6
	台湾	国立政治大学	H16. 9. 13
	台湾	国立中興大学	H16. 9. 14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17. 3. 31
	タイ王国	チェンマイ大学	H17. 9. 9
	台湾	国立台北大学	H17. 10. 6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18. 3. 3
	台湾	国立東華大学	H18. 6. 30
	大韓民国	培材大学校	H18. 7. 11
	大韓民国	牧園大学校	H19. 5. 16
	インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19. 6. 11
	大韓民国	大邱大学校	H19. 6. 26
	台湾	元培医事科技大学	H19. 7. 6
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	H19. 8. 6
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19. 8. 24
	中華人民共和国	西南政法大学	H19. 10. 31
	中華人民共和国	浙江科技大学	H19. 12. 25
	タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20. 1. 3
	中華人民共和国	遼寧大学	H20. 4. 30
	インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21. 9. 4
	台湾	文藻外語大学	H21. 9. 4
	ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	H22. 1. 26

佐賀大学 (大学間)	カナダ	ウイルフリッド・ロリエ大学	H22. 7. 13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガル大学	H22. 7. 26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22. 9. 30
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23. 3. 28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23. 7. 15
	インドネシア共和国	マラン国立大学	H23. 12. 7
	インドネシア共和国	IPB大学	H23. 12. 27
	アメリカ合衆国	スリップパリーロック大学	H24. 4. 4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24. 8. 28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24. 11. 30
	タイ王国	タマサート大学	H25. 2. 13
	バングラデシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25. 2. 20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25. 3. 11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25. 8. 26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25. 11. 8
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26. 4. 14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28. 8. 21
	オランダ王国	デザインアカデミーアイントハーフェン	H28. 10. 19
	ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学 (ハレ)	H29. 3. 30
	中華人民共和国	温州大学	H30. 5. 28
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	R元. 5. 21
	台湾	国立勤益科技大学	R元. 6. 28
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	R元. 9. 24
	スペイン王国	アルメリア大学	R4. 8. 26
	中華人民共和国	貴州民族大学	R4. 12. 19
	バハマ国	バハマ大学	R5. 9. 26
	フランス共和国	リール大学	R6. 6. 6
	オーストリア共和国	ウィーン工科大学	R6. 9. 18

佐賀大学 (学部間)	*芸術地域デザイン学部		
	中華人民共和国	浙江海洋大学	R7. 7. 4
	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6. 6. 30
	*医学部		
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	H14. 2. 14
	台湾	輔仁カトリック大学 医学部	H25. 3. 15
	*理工学部		
	チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10. 7. 20
	バングラデシュ人民共和国	クルナ工業技術大学	H12. 3. 1
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14. 11. 27
	ネパール	トリブバン大学 理工学部	H15. 3. 2
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15. 3. 28
	大韓民国	延世大学校	H17. 4. 11
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25. 2. 19
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27. 3. 27
	中華人民共和国	同済大学 土木工程学院	H27. 5. 7
	ミャンマー連邦共和国	ヤンゴン工科大学	H27. 6. 22
	大韓民国	韓国交通大学	H27. 9. 15
	マレーシア	トゥン・フセイン・オン大学	H27. 12. 9
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	H28. 1. 20
	中華人民共和国	蘇州大学 材料与化学化工学部	H30. 1. 30
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	H30. 3. 7
	カザフスタン共和国	カザフ建築土木高等アカデミー	H30. 7. 20
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学	H31. 2. 21
	タイ王国	チュラロンコン大学 工学部	R元. 12. 23
	インドネシア共和国	カリマンタン工科大学	R2. 1. 8
	インドネシア共和国	ブンハッタ大学	R2. 3. 18
	インドネシア共和国	ムハマディア大学	R4. 1. 26
	インドネシア共和国	タドゥラコ大学 工学部	R5. 9. 11
	チュニジア共和国	カルタゴ大学 国立建築都市計画学校	R6. 2. 5
	インドネシア共和国	マラン州立工科大学	R7. 7. 3
	インドネシア共和国	ボルネオタラカン大学	R7. 10. 9
	大韓民国	東亜大学校 工学部	R8. 2. 20
	*農学部		
	マレーシア	マレーシアブトラ大学 農学部	H元. 3. 16
	インドネシア共和国	ジェンデラル・スディルマン大学	H30. 10. 23
	インドネシア共和国	ジェンバー大学 農学部	R6. 6. 12
	ベトナム社会主義共和国	ダナン大学 教育大学	R7. 1. 6
	インド	スリ・ヴィシユヌ教育協会	R7. 9. 22
	*海洋エネルギー研究所		
	大韓民国	釜慶大学 先進的親和環境エネルギーセンター	H16. 9
	大韓民国	海洋大学 海洋エネルギー人的資源開発センター	H21. 9
	中華人民共和国	大連理工大學海洋科学技術学院	H27. 1. 21
	アメリカ合衆国	ハワイ州立自然エネルギー研究所 (NELHA) マカイ・海洋エンジニアリング (MAKAI)	H27. 8
	ブラジル連邦共和国	リオデジャネイロ連邦大学 アルベルト・ルイス・コインブラ研究所	R5. 10
	フィリピン共和国	サン・カルロス大学	R7. 10. 13
	*シンクロトロン光応用研究センター		
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14. 4. 1
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18. 3. 6
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18. 4. 1
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22. 9. 9
	中華人民共和国	上海応用物理研究所上海シンクロトロン光施設	H23. 4. 6
	*肥前セラミック研究センター		
	大韓民国	韓国窯業技術院Icheon分院	R元. 1. 3

西九州大学	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22. 8. 25
西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アディロンダック校	H22. 11. 23
	大韓民国	モコン大学	H22. 12. 14
	大韓民国	大田科学技術大学	H23. 10. 7
	タイ王国	ブラパー大学	H24. 8. 27
	台湾	国立宜蘭大学	H24. 11. 7
	台湾	元培医事科技大学	H24. 11. 8
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25. 8. 5
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25. 9. 24
	台湾	義守大学	H25. 10. 11
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27. 3. 23
	中華人民共和国	厦門（アモイ）理工学院	H27. 6. 23
	中華人民共和国	中国貴州民族大学	R4. 5. 13
	大韓民国	建国大学グローバルキャンパス	H27. 6. 26
	ベトナム	ハノイ大学	H29. 9. 12
	台湾	国立台北大学	R6. 7. 22
	韓国	馬山大学	R6. 10. 25
	中国	厦門工学院	R6. 12. 11

佐賀女子短期大学 * 大学間	大韓民国	慶州大学校	H11. 11. 12
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15. 10. 26
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17. 6. 29
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20. 7. 13
	ニュージーランド	イースタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー	H20. 10. 15
	大韓民国	蔚山科学大学	H22. 1. 15
	大韓民国	釜山外国語大学	H27. 5. 13
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27. 6. 1
	大韓民国	培材大学	H27. 10. 14
	大韓民国	翰林聖心大学	H29. 4. 21
	大韓民国	忠北保健科学大学	H29. 5. 17
	大韓民国	金浦大学	H29. 6. 13
	カナダ	ロッキー大学	H29. 8. 3
	大韓民国	馬山大学校	H31. 4. 24
	大韓民国	東義科学大学	R1. 6. 10
	大韓民国	啓明文化大学	R2. 7. 23
	大韓民国	明知大学	R2. 11. 11
	大韓民国	韓南大学	R2. 12. 18
	大韓民国	漢陽女子大学	R2. 12. 30
	大韓民国	国民大学校	R3. 1. 13
	大韓民国	慶星大学	R3. 3. 24
	大韓民国	崇実大学	R3. 5. 19
	大韓民国	誠信女子大学	R3. 6. 17
	大韓民国	仁徳大学	R3. 7. 14
	大韓民国	大邱大学	R4. 1. 5
	大韓民国	清州大学	R4. 4. 21
	台湾	大葉大学	R4. 4. 26
	大韓民国	慶南情報大学	R4. 9. 13
	タイ王国	ランシット大学	R4. 12. 13
	大韓民国	長安大学校	R5. 8. 9
	大韓民国	祥明大学	R6. 1. 22
	台湾	玄装大学	R6. 1. 16
	大韓民国	東義大学	R6. 3. 12
	台湾	実践大学	R6. 10. 22
	中華人民共和国	大連大学	R7. 2. 27
	大韓民国	南ソウル大学	R7. 6. 20
	大韓民国	釜山女子大学	R7. 5. 15
	大韓民国	永進専門大学	R7. 7. 25
	大韓民国	大邱サイバー大学	R8. 1. 14

(イ) 高等学校

学校名	提携日・提携先	提携の経緯
佐賀東高等学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀北高等学校	平成4年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津西高等学校	平成29年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
太良高等学校	平成30年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (中国 台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年度にかけて行き来をした後、平成29年度に国際交流協約書を締結した。
唐津南高等学校	平成28年9月29日 三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
高志館高等学校	平成30年3月 湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成29年度に国際交流協約を締結した。
佐賀農業高等学校	平成26年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度に国際交流協定締結に至った。
佐賀工業高等学校	平成27年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協約を締結した。
有田工業高等学校	平成17年8月2日 韓国陶芸高等学校 (韓国)	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるために平成17年度に姉妹校交流を締結した。
佐賀商業高等学校	平成7年7月4日 ハードリー・ルザン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
	平成28年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度に交流協約書を締結した。
	令和5年6月22日 大一(デイル)観光高校 (韓国 ソウル市)	平成30年度に佐賀県教育振興課を通して紹介があり交流開始。オンライン交流などを続けてきた。令和5年には国際交流協約書を締結し、生徒の派遣交流事業を始めている。令和6年度からは修学旅行での交流も行っている。
唐津商業高等学校	平成24年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。

白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	平成27年12月23日 順天青岩（チョンアム）高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。
牛津高等学校	平成25年12月 リセ・オテルリ (フランス パリ)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。
	平成27年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協定締結に至った。
鳥栖商業高等学校	令和3年3月31日 桃園市立中壢商業高級中等學校 (台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年から令和元年にかけて相互交流を続ける中で、令和2年度に国際交流協定書を締結した。
神埼清明高等学校	令和元年12月 新北市立鶯歌高級工商職業学校 (中国 台湾)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、令和元年に、国際交流協約書締結に至った。
嬉野高等学校	平成26年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。
唐津青翔高等学校	平成20年1月14日 釜山外国語大学校 (韓国 釜山市)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。
	令和6年5月31日 羅州（ナジュ）高等学校 (韓国 全羅南道)	令和5年12月全羅南道教育庁の訪問があった際、両校の継続的な交流を希望し、相互協力協定校として協定を結ぶこととなった。
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	平成10年3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附属 佐賀女子高等学校	平成14年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、平成13年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。平成14年1月に来校。提携校協定を結ぶ。
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	昭和56年4月1日 永登浦(ヨンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結
学校法人江楠学園 北陵高等学校	平成2年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人東明館学園 東明館高等学校	平成27年4月27日 信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	平成26年1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀大学教育学部 附属中学校	平成28年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。平成30年9月にお互いの学校で姉妹校締結書を交わした。
唐津東中学校	平成29年11月6日 董玉娣中学校 (中国 香港)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。
武雄青陵中学校	平成27年3月4日 麗水華陽(フヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。
佐賀市立 成章中学校	平成10年11月17日 ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城南中学校	平成10年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 昭栄中学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城西中学校	平成元年5月22日 グレンズフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島中学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 第一中学校	平成8年11月16日 麗水中学校 (韓国 全羅南道)	昭和57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結を受け、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。
武雄市立 山内中学校	平成5年3月 ブルックヘイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバスト ポール市) 平成23年4月16日 (再調印)	昭和60年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の平成23年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。

神崎市立 神崎中学校	平成28年11月15日 朗州中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。交流は、コロナ禍により一時途絶えていたが令和6年度から再度、相互交流が始まった。
神崎市立 千代田中学校	平成28年11月9日 三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。神崎市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神崎市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神崎市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。
神崎市立 脊振中学校	平成元年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)	締結前年度、スッポン養殖の研究のため脊振村(当時)に滞在していた3名の中国人研究者と本校生徒との交流会がきっかけとなった。交流会での心温まる歓迎に感激した研究者が中国側との橋渡し役を務め、また、本校においては日本赤十字社佐賀県支部の協力を得て、姉妹校提携の締結及び相互親善訪問が実現した。令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により相互訪問が一時中断したが、令和6年度には本校から生徒6名と引率職員2名が山西大学附属中学校を訪問した。さらに、令和7年度には柳団長をはじめとする教師3名と生徒8名を受け入れ、相互訪問を再開した。
上峰町立 上峰中学校	平成16年8月27日 大神(テイシン)中学高等学校 (韓国)	昭和55年より剣道愛好者による民間交流が始まる。平成13年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返された。平成15年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡訪問事業開始。平成16年姉妹校締結。
玄海町立 玄海みらい学園	平成29年8月10日 コロワルスクール (オーストラリア シドニー)	前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。

(エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市立 勸興小学校	平成元年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 循誘小学校	平成2年11月17日 ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 嘉瀬小学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島小学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 金立小学校	平成元年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 久保泉小学校	平成2年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 芙蓉小学校	平成元年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 名護屋小学校	平成11年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年平成12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。
鹿島市立 北鹿島小学校	平成22年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(コフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。
太良町立 多良小学校	令和7年11月13日 美和国民小学 (台湾 台東県太麻里郷)	太良町の交流事業の一環としてR7年度よりオンライン交流を始めた。R8年度もオンライン交流を行う予定。
太良町立 大浦小学校	令和7年12月12日 令和8年3月16日 富山実験小学校 (台湾 台東県卑南郷)	太良町の交流事業の一環としてR7年度よりオンライン交流を始めた。令和7年度は2回行った。また手紙や手作り作品の交換を通しての交流も行った、R8年度もオンライン交流を中心に実施予定。

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数一覧

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	カレドニア	ウルグアイ	不明	合 計
佐 賀 市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐 津 市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥 栖 市	37	6	8	32	10	2	6						101
多 久 市	17		2	136	5	14		1					175
伊 万 里 市	10	3		200	7	2	15	4					241
武 雄 市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿 島 市	10	4	2	145	6	26				2			195
小 城 市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉 野 市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神 埼 市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基 山 町	6		3	9	6	2							26
上 峰 町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄 海 町													0
有 田 町				76		1							77
大 町 町	1		1	110	6	34	11						163
江 北 町	2	1		27									30
白 石 町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太 良 町	1			64									65
小 計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合 計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

出典：佐賀県海外移住史

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により18か所（20か国）に県人会があり、各種活動を行っている。

R7.5月現在

地 域	国 名	団体名（日本語）	団体名（現地名称）	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	ASSOCIAÇÃO CULTURAL ESPORTIVA E BENEFICENTE SAGAKEN DO BRASIL	1955 (S30)	191名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S51)	70名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S55)	122名
	ボリビア	ボリビア国佐賀県人会	ASOCIACION. DE. PRV, SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S35)	56名
北米	アメリカ	南カリフォルニア佐賀県人会	Saga Prefectural Association of Southern California	1905 (M38)	18名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S54)	9名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H11)	78名 (佐賀出身者 16名)
		北カリフォルニア佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H21)	25名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H2)	44名
	中国	香港佐賀県人会	香港佐賀県人会	1995年頃 (H7頃)	12名
		北京佐賀県人会	北京佐賀县人会	2015 (H27)	10名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H14)	45名
		台湾佐賀県人会	台湾佐賀県人会	2017 (H29)	21名
	シンガポール	佐賀県人会 葉隠会	HagakureーKai	1984 (S59)	16名
	マレーシア	マレーシア佐賀県人会	ムツゴロウ会	2013 (H25)	17名
	ベトナム	ホーチミン葉隠会	ホーチミン葉隠会	2015 (H27)	10名
欧州	フランス	パリ佐賀県人会	パリ佐賀県人会	2013 (H25)	21名

3. 国際化推進のための環境づくり

(1) 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致し、小・中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立小・中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。SEAはスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

ア 年度別招致状況

JET 青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
H11 年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
H12 年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
H13 年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
H14 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H15 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H16 年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H17 年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
H18 年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
H19 年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
H20 年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
H21 年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
H22 年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
H23 年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
H24 年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
H25 年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
H26 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H27 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H28 年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H29 年度	4	16	1	21	2	24		26	6	40	1	47
H30 年度	4	16	1	21	2	23		25	6	39	1	46
R 元年度	5	16	1	22	2	23		25	7	39	1	47
R2 年度	4	13		17	2	17		19	6	30		36
R3 年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R4 年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R5 年度	5	16		21	3	13		16	8	29		37
R6 年度	5	16		21	3	13		16	8	29		37
R7 年度	5	16		21	4	12		16				37

※「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校（H2～H18 年度、R1～5 年度各年度 ALT 1 名を配置）を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（令和7年度）

○ 国際交流員（CIR）

配 置 先		R7 人数
県	佐賀県多文化共生さが推進課	4
	名護屋城博物館	1
市町等	佐賀市国際課	1
	武雄市男女参画・市民協働課	1
	嬉野市観光商工課	1
	有田町商工観光課	1
合 計		9

○ 外国語指導助手（ALT）

配 置 先		R7 人数
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16
市町等	唐津市教育委員会	1
	伊万里市教育委員会	1
	武雄市教育委員会	3
	鹿島市教育委員会	2
	嬉野市教育委員会	1
	玄海町教育委員会	1
	有田町教育委員会	1
	大町町教育委員会	1
	江北町教育委員会	1
	合 計	28

調：多文化共生さが推進課

(2) 外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数（1か月以上）

	学 校 名	R4	R5	R6	R7		学 校 名	R4	R5	R6	R7
1	鳥 栖	1	1	1		20	唐 津 南				
2	三 養 基					21	伊 万 里 農 林				
3	神 埼					22	佐 賀 農 業	1			
4	佐 賀 東		1			23	鳥 栖 工 業				
5	佐 賀 西		2			24	佐 賀 工 業		1		
6	佐 賀 北	1	2	1	1	25	唐 津 工 業				
7	致 遠 館	1	1	1	1	26	有 田 工 業				
8	小 城					27	塩 田 工 業				
9	唐 津 東					28	鳥 栖 商 業				
10	唐 津 西	1				29	佐 賀 商 業				
11	巖 木					30	唐 津 商 業				
12	唐 津 青 翔					31	伊 万 里 商 業				
13	伊 万 里	1		1	1	32	杵 島 商 業				
14	武 雄				1	33	鹿 島 実 業				
15	白 石			1		34	神 埼 清 明				
16	鹿 島					35	多 久				
17	太 良					36	嬉 野				
18	牛 津	1				受 入 校 数		7 校	6 校	5 校	4 校
19	高 志 館					留 学 者 数		7 名	8 名	5 名	4 名

調：県教育委員会事務局教育振興課

イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況（令和7年度）

学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数（定員）	コースの設置年
佐賀商業高等学校	グローバルビジネス科	1	40	平成30年
唐津青翔高等学校	韓国文化系列	-	-	令和4年

調：県教育委員会事務局教育振興課

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（令和7年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門（3年生選択／2単位）	H4
	ハングル入門（3年生選択／2単位）	H17
唐 津 商 業	ハングル入門（3年生選択／3単位）	H4
三 養 基	中国語Ⅰ（3年生選択／2単位）	H8
佐 賀 北	中国語入門（3年生選択／4単位）	H8
	ハングル入門（3年生選択／4単位）	H13
嬉野（嬉野校舎）	中国語入門（2年生選択／2単位）	H13
	中国語基礎（3年生選択／2単位）	H21
唐 津 青 翔	韓国文化（3年生選択／2単位）	H17
	韓国語Ⅰ（1・2年生選択／6単位）	H17
	韓国語Ⅱ（3年生選択／2単位）	H17
佐 賀 農 業	韓国語入門（3年生選択／2単位）	H26
白石（商業科キャンパス）	韓国語入門（3年生商業科・情報ビジネス科選択／2単位）	R2

調：県教育委員会事務局学校教育課

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（令和7年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
佐賀商業高校 グローバルビジネス科	韓国	学校交流、ソウル市内観光	40

調：県教育委員会事務局学校教育課

オ 海外の学校との交流状況

(ア) 高等学校

学校名	相手校	提携日 (提携校の場合)	提携・交流の経緯	令和7年度の交流状況
佐賀北高等学校	新竹高校 (台湾)			1年生の授業の一環で台湾の新竹高校と郵便のやり取りをした。手紙だけでなく、写真や絵などの思い出のあるものの交換や互いの国の文化を紹介した。
	光陽製鉄高校 (韓国)			お互い20名の交流メンバーを募り、メッセージのやり取りと、お菓子・雑貨・手紙などのやり取りを行った。また、ZOOMを用いて互いの国の環境問題についてディスカッションを4回行った。
佐賀西高等学校	ヘアマン・ウェセリンク・カレッジ (オランダ)		R3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	【ZOOMオンライン交流】 参加生徒：17名（2年生） 実施日：R7.12.17（1回目） R8.1.29（2回目） R8.2.19（3回目） 各回1時間程度 交流内容：自己紹介、学校紹介（1回目）、異文化理解についてのディスカッション（2・3回目）
	台中市大甲高級中学校 (台湾)		教育振興課からの紹介で、台湾の全校生徒約1400名の普通科・体育科・PC情報、デザイン専門科を持つ高校とオンラインの国際交流を行うこととなった。	【ZOOMオンライン交流】 参加生徒：28名（1年生） 実施日：R7.12.24（1回目） R8.1.21（2回目） R8.3.18（3回目） 各回1時間程度 交流内容：自己紹介、学校紹介、フリーディスカッション（1回目）、1回目で決定したテーマについてのグループディスカッション（2回目）、global issue についてのグループディスカッション（3回目）
伊万里高等学校	柳韓工業高校 (韓国 ソウル特別市)		伊万里市役所からの紹介	【オンライン交流】 日時：R7.12.24 参加者：本校生徒4名、韓国生徒4名 交流内容： ・歓談 【受入交流】 日時：R8.1.15 参加者：本校生徒33名 韓国生徒30名 交流内容： ・交流会（伊万里の紹介、ダンスパフォーマンス、歓談、イントロクイズ） ・部活動見学、体験
高志館高等学校	湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成30年3月	H25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H29年度に国際交流協約を締結した。	【ZOOMオンライン交流】 参加生徒：8名（1年生3名、2年生4名） 実施日：R7.9.24 事前講座 R7.10.16 オンライン交流 交流内容：学校紹介、自己紹介、好きなテーマについて意見交換など
佐賀農業高等学校	全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年8月	H24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H26年度に国際交流協定締結に至った。	【受入交流】 交流日：R7.11.19 参加人数： 全南生命科学高校生徒16名 引率教員5名 佐賀農業高校生徒16名 (韓国語選択者・希望者) 交流内容： 全校生徒参加の歓迎セレモニーにて両校の学校紹介、交流参加生徒とのペアワーク、日本料理調理体験、お菓子交換交流、高校生カフェ体験、校内探索や記念品交換など
唐津工業高等学校	慶北科学技術高等学校 (韓国)			R7年度に高校生18名、教師6名の学校訪問があり、本校工業科の施設見学や実習等の授業見学を行った。
有田工業高等学校	韓国陶芸高等学校 (韓国)	平成17年8月2日	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるためにH17年度に姉妹校交流を締結した。	R7.11に本校から陶芸作品20点を送り、R7.12に先方からの陶芸作品13点を展示し作品交流を行った。
	韓国・全羅南道教職員使節団			R7.12.10に全羅南道教職員使節団の学校訪問があり、学校見学および説明を実施した。（教育振興課より学校訪問の指定を受け、行った。）

佐賀商業高等学校	大ー（デイル）観光高等学校 （韓国 ソウル市）	令和6年6月23日	H30年度に教育振興課からの紹介。	【受入交流】 交流日：R8. 1. 14 受入人数：生徒12名 交流内容：2-5生徒40名との交流 【派遣交流】 交流日：R7. 5. 21～5. 25 受入人数：生徒2名 交流内容：大ー観光高校での授業、学校行事）に参加、ホームステイ先での交流 【オンライン交流】 交流日：R7. 5. 15 交流内容：3-5生徒30名と大ー観光高校の生徒とのオンライン交流 交流日：R7. 6. 5 交流内容：3-5生徒22名と大ー観光高校の生徒とのオンライン交流 【修学旅行時の交流】 交流日：R7. 12. 6 交流内容：本校生徒40名と大ー観光高校の生徒をグループに分けてソウル市内観光
	花蓮市海星高校 （台湾）		八戸溝郵便局からの紹介	【手紙交流】 交流日：R7. 12 交流人数：1年生6クラス（240名） 交流内容：手紙のやり取り
鳥栖商業高等学校	桃園市立中壢商業高級中等学校 （台湾）	令和3年3月31日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。相互交流を続ける中で、R2年度に国際交流協定書を締結した。	【オンライン交流】 ＜1回目＞ 実施日：R7. 5. 2 参加人数：本校生徒25名（相手校は二次元クラブの生徒が参加） 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜2回目＞ 実施日：R7. 6. 6 参加人数：本校生徒16名（相手校は日本語研究クラブの生徒が参加） 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜3回目＞ 実施日：R7. 6. 13 参加人数：本校：生徒20名 内容：情報交換
	大ー（デイル）観光高等学校 （韓国 ソウル市）		相手校が毎年インターンシップで来日されており、その期間中に交流をしたいという希望があったため。	【受入交流】 ＜1回目＞ 実施日：R7. 11. 4～7 受入人数：生徒4名、引率者1名 内容：生徒交流、授業体験、学校行事体験 ＜2回目＞ 実施日：R8. 1. 14 受入人数：生徒14名 内容：半日交流、言語活動交流 【オンライン交流】 ＜1回目＞ 実施日：R7. 6. 13 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜2回目＞ 実施日：R7. 6. 20 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜3回目＞ 実施日：R7. 10. 17 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて） ＜4回目＞ 実施日：R7. 11. 21 参加人数：本校生徒18名 内容：情報交換（お互いの地域や文化の違いについて）
唐津青翔高等学校	釜山外国語大学校 （韓国 釜山市）	平成20年1月14日	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	【現地交流】 交流日：R7. 11. 12～14 交流人数：生徒14名、引率者2名 交流内容：自己紹介、学校紹介、学生との交流、開発商品PR、釜山市内の史跡等見学
	全羅南道羅州（ナジュ）高校 （韓国 全羅南道）	令和6年5月31日	令和5年12月全羅南道教育庁の訪問があった際、両校の継続的な交流を希望し令和6年5月相互協力協定校として協定を結ぶこととなった。	【オンライン交流】 交流日：R7. 5. 20 交流人数：生徒25名 交流内容：自己紹介、学生との交流 【手紙・お菓子交換交流】 交流日：R7. 12月 交流人数：生徒11名 交流内容：韓国語で書いた手紙を送った。日本と韓国のお菓子を交換し、その様子を写真で撮って送りあった。

小城高等学校	南岳（ナムク）高校 （韓国 全羅南道）		全羅南道の実田実様の斡旋により。	R7. 11. 17、18 オンライン交流（共生社会）
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	レイクジョージ高校 （アメリカ ニューヨーク州）	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	【訪問交流】 実施日：R8. 3. 25～4. 4 参加人数：24名（生徒19名、引率者5名） ※本校参加者 高校生 4名、引率教諭 1名 内 容 ・NY市観光 ・ホームステイ ・歓迎会 ・学校訪問 ・授業体験 ・パネルディスカッション ・スピーチ ・パフォーマンス（書道・空手・演奏） ・ダンス披露 ・部活動参加
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校	善徳（ソンドク）女子高校 （韓国 慶州市）	平成14年1月11日	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、H13. 3に職員を派遣し視察。H14. 1に善徳女子高校より来校。提携校協定を結ぶ。	日時：R7. 7. 28～31 （3泊4日） 参加者：本校生徒15名 善徳女子高校12名 交流方法：本校受け入れ ・本校生徒宅にホームステイ 交流内容： ・名前の紹介 ・本校の紹介 ・焼き物体験 ・佐賀城本丸歴史資料館見学 ・昼食会 ・手紙の交換
学校法人東明館学園 東明館高等学校	信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 （中国 上海市）	平成27年4月27日	H26. 1. 20に佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。	編入学生徒11名が入学（R7. 10～）

（イ）義務教育学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和7年度の交流状況
玄海町立 玄海みらい学園	コロワルスクール （オーストラリア シドニー）	平成29年8月10日	前教育長が国際交流を推進しており、数年前からコロワルスクールとは交流をしていた。その交流の一環として。	R8. 2. 26にコロワルスクールの日本語学習のクラスと本学園の9年生が、オンラインで英語での交流を行った。
	鼻頭小学校 （台湾）		R5年最終回であった大牟田市主催の交流会に参加したことにより、玄海町教育委員会と鼻頭小学校とのつながりができ、2校で交流を継続することとなった。	R7. 9. 11に本学園5・6年生と鼻頭小学校の全校児童とがオンラインで交流した。 R7. 11. 6に鼻頭小から児童が来校。来校した児童は、分かれて前期課程の全クラスの授業に参加していただいた。

（ウ）中学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和7年度の交流状況
佐賀大学教育学部 附属中学校	香港聖公会林護紀念中学校 （中国 香港）	平成28年2月	H26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、H28年度、MOUを締結した。	日時：R7. 12. 17～20（3泊4日） 参加者：本校3年生3名、2年生11名、1年生6名、計20名 交流方法：現地訪問 交流内容： ・学校や自国文化（書道・日本の遊び）の紹介 ・名刺交換・体験授業・校舎見学
佐賀市立 城南中学校	レイクジョージ中学校 （アメリカ ニューヨーク州）	平成10年3月27日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	【派遣交流】 実施日：R8. 3. 25～4. 4 訪問人数：城南中生徒5名 他校9名 引率：佐賀市1名、市教委1名、教諭2名、交流協会1名 交流内容：ホームステイ、文化交流、授業体験、市長表敬訪問 New York City視察
佐賀市立 昭栄中学校	ハードリー・ルザーレン中学校 （アメリカ ニューヨーク州）	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	日時：R7. 3～4 参加者：2年生 交流方法：現地訪問 交流内容：学校や自国文化の紹介、ホームステイ

佐賀市立 城西中学校	グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成1年5月22日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	【グレンズフォールズ中訪問団来校】 R7. 7. 3～9(8泊9日) 来校者：3年生5名、2年生3名、1年生2名、引率教員2名 計12名 本校生徒・教員宅にホームステイし、ホスト生徒のクラスを中心に交流 交流内容： ・折り紙、書道、浴衣、箏、華道等の日本文化体験 ・英語授業、パネルディスカッション
佐賀市立 北山中学校	セントポールズ校 (オーストラリア ビクトリア州)		元校長からの紹介	リモートによる交流をR7. 6. 27、R8. 3. 10の2回各1時間程度ずつ実施した。好きなキャラクターや漫画、漢字のクイズをしたり、世界で活躍しているタレントやスポーツ選手の話題をしたりして相互の交流を深めた。
神埼市立 神埼中学校	朗州中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月15日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。	韓国の朗州中学校訪問団(生徒10名、引率5名)が神埼中学校を訪れ、半日間の交流会を行った。両校による学校紹介や文化披露の後、音楽室でベアを組み等の演奏体験を実施。給食を共にした昼食会では日本風の韓国料理を味わいながら親睦を深めた。限られた時間ながら、多くの神埼中生が自発的に話し掛けるなど終始温かい雰囲気にもまれ、生徒の積極的な姿勢が光る極めて有意義な国際交流の機会となった。
神埼市立 千代田中学校	三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	平成28年11月9日	H28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。神埼市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神埼市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。H27. 10. 23に神埼市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。H28. 11. 9に千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	R7. 11. 11韓国の三湖西(サムホソ)中との国際交流を行った。教職員等6名、中学生14名が千代田中を訪れた。千代田中学校からは学校紹介や神埼市紹介、浴衣の着付け体験、和服着用時のマナー学習を行った。千代田中学校、三湖西中学校の生徒ともに有意義な交流となった。
神埼市立 脊振中学校	山西大学附属中学校 (中国 山西省)	平成1年10月1日	締結年度の前年度に、スポンサー養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて、姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	R7. 8. 8、柳団長をはじめ、山西大学附属中学校の生徒8名と引率教員3名が本校を親善訪問した。これまで30年以上にわたり、隔年で相互訪問を行ってきたが、コロナ禍により交流が途絶え、令和元年以来の訪問となった。当日は、交流開始当時の村長、教育長、校長を来賓として招き、授業参観や給食交流、歓迎式典、交流会などを盛大に実施した。また、中国の生徒たちは2名ずつ4家庭に分かれてホームビジットを行った。訪問先の家庭では夕食を共にしながら交流を深め、短い時間ではあったが親睦を深める貴重な機会となった。
武雄市立 山内中学校	ブルックヘイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市)	平成5年3月 平成23年4月16日 (再調印)	S60. 3にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後のH23. 4. 16に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	実施期間：R8. 3. 20～R8. 3. 30 参加人数：交流40周年の交流事業のために、武雄市から20名(山内中6名を含む)の生徒が渡米し、カルフォルニア州のセバストポール市との交流に参加した。 交流内容：40周年セレモニーに参加する他、現地の小中学校を訪問し交流を図った。また、最終日は各自ホームステイを行った。
江北町立 江北中学校	エンカウンター・ルーサラン・カレッジ (オーストラリア・南オーストラリア州)		町の際交流事業	●実施日：R7. 10. 7～9 ●訪問者：高校生16名、引率者3名 ●内容： 歓迎セレモニーの実施や授業を通して交流活動を行った(オーストラリアの高校生は各学級に分かれて入り、一緒に授業を受けながら日本語による授業や日本の文化に触れる体験をした)。また、給食と一緒に食べたり、昼休みを過ごしたりして交流を深めた。なお、オーストラリアの高校生は生徒宅へ2泊3日のショートホームステイを行った。

太良町立 多良中学校	台東県立宝桑国民中学校 (台湾)		「多良駅」という共通の名称の駅を持つことを契機に、太良町と台東県との交流が始まった。この交流の一環として、商工業等の交流に加えて、小中学校同士の交流会が設定された。	①台湾から使節団来校 ・R7. 6. 17に台湾から訪問団学校訪問。授業や施設等を見学。 ②交流会に向けた事前打合せ ・R7. 10. 31に交流を行う1年生の担当職員と相手校の担当者同士でオンライン回線の確認と交流内容等の事前打合せ。 ③中学生同士の交流 ・グループごとに発表し合い、お互いに質疑応答などをして交流した。 R8. 1. 29に、オンラインでの中学生同士の対面での交流。「学校生活の紹介」「地域の文化」「太良町のおすすめの紹介」等を行った。 R8. 3. 17に、2回目の交流を行った。前回発表できなかった分を発表したり、画面越しに一緒に踊ったりして交流を深めた。
太良町立 大浦中学校	豊田国民中学校 (台湾 台東県)		「多良駅」という共通の名称の駅を持つことを契機に、太良町と台東県との交流が始まった。この交流の一環として、商工業等の交流に加えて、小中学校同士の交流会が設定された。	①台湾から使節団来校 ・R7. 6. 17に台湾から訪問団学校訪問。生徒会長を中心に、訪問団に対して学校紹介を行った。 ②交流会に向けた事前打合せ ・R7. 11. 19に交流を行う2年生の担当職員と相手校の担当者同士でオンライン回線の確認を含めた事前打合せ。 ③中学生同士の交流 ・R7. 12. 9に、オンラインでの中学生同士の対面での交流。「自己紹介」「学校紹介」「太良町のおすすめポイント紹介」等を行った。 ※必要に応じて、担当者同士が、適宜、メールで意見交換を行った。

(エ) 小学校

学校名	相手校	提携日	提携の経緯	令和7年度の交流状況
佐賀市立 兵庫小学校	六合小学校 (台湾) 明湖小学校 (台湾) ワタマリン・トララム小学校(タイ) ラチャウィニット小学校(タイ)		佐賀市八戸溝郵便局長より6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	絵手紙での交流、及びZoomを使つてのオンライン交流。
佐賀市立 高木瀬小学校	高尾市立新甲国小学校 台北市立吉林国小学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小学校6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。	佐賀市八戸溝郵便局長様に、「手紙の書き方」の指導の一環として、お手紙交流にご協力いただいた。1回目の取組として、R7. 9. 8、11に6年生が台湾の高尾市立新甲国小学校の児童に向けて英語で手紙を作成した。続いて、R7. 10. 28、29には2年生が台湾の台北市立吉林国小学校の児童に向けて日本語で手紙を作成し、指導者の方に英訳していただいた。完成した手紙は、局長様を通じて投函した。その後、台湾の児童から届いた返書を活用し、2回目の授業をR8. 1. 21、22に実施した。
佐賀市立 新栄小学校	トヒョン小学校 (韓国 釜山市)		まちづくり協議会の主催で21年前から交流は始まり韓国から交流団を招いたり、韓国に行ったりして交流をしてきた。	R7. 11に児童17名(地域代表3名、引率3名)でトヒョン小学校を訪問。交流会ではソーラン節やトヒョン小学校の校歌を歌ったりするなど、お互いの文化にふれあい交流を深めた。
佐賀市立 鍋島小学校	クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	R7. 6に、外国語活動で七夕の行事を通して、一緒に活動した。
佐賀市立 久保泉小学校	レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	平成2年11月17日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	実施日：R7. 7. 7 グレンズフォールズ市より高校生3名、引率教諭1名、ボランティア通訳・市国際交流協会1名来校。6年生と交流(体育館…だるまさんがころんだ、羽子板、教室…剣玉など) 6年生は、事前に、どのようにしたらアメリカからの来客(高校生)が楽しむことができるかを考えて、学級会での話し合いを経て準備を行った。
佐賀市立 川上小学校			令和5年度から大和ロータリークラブ主催による西九州大学留学生との交流を実施。	実施日：R7. 12. 16 対象学年：2年(学年で) 内容： ・留学生の自己紹介 ・グループで互いに自己紹介、コミュニケーション ・みんなで遊ぶ(じゃんけん列車) ・一緒に歌を歌う。
	アリゾナ州立大学 (アメリカ)		本校校長からの紹介	実施日：R7. 5. 20(オンライン) 実施学年：5年(各クラスで) 内容： ・互いに自己紹介 ・アリゾナの学生からアメリカの様子をスライドを用いながら紹介 ・小学生からアリゾナの学生に対して質問

唐津市立 肥前小学校	鼻頭小学校 (台湾)		鼻頭小学校と交流のあった玄海みらい学園に来訪する期間中、他校との交流を希望されたため、玄海町教育長より本校校長に依頼があり、交流をすることになった。	R7. 11. 5 ○1年生との交流（昔遊び体験） ○学習発表会交流 ・鼻頭小学校の紹介動画や合唱 ・肥前小学校4年生の合奏、4・5年生のソーラン演舞 R8. 3月初旬 ○鼻頭小学校より文化交流箱が到着 (R8. 4月に肥前小学校よりお礼の手紙や動画を返信)
有田町立 有田小学校	マイセンアリタ小学校 (ドイツ マイセン市)		R6年度に有田町、ドイツマイセン市姉妹都市提携45周年を記念して、交流をしていきたいという申出があった。 R5. 10. 13にマイセン有田友好協会が来校し、本校校長と有田町商工観光課で話し合いがもたれ、R6. 11. 21に調印式を行うこととなった。	○R7. 6. 24：有田町商工観光課テオマン氏(常駐通訳士)による授業 対象：3年生 内容：ドイツ、マイセン市及びアリタ小学校マイセンの概要説明。 ○R7. 7. 1：有田町商工観光課テオマン氏(常駐通訳士)による授業、マイセン市から来町中のリンダさんとの交流会。 対象：3年生 内容：ドイツ、マイセン市及びアリタ小学校マイセンの概要説明、自己紹介や質疑応答。 ○R7. 10. 6：ドイツ マイセン市からの来町団(7名)との交流会 対象：3年生・6年生 内容：6年生との交流授業、3年生との交流会、3年生との交流給食。 ○R7. 10. 24：アリタ小学校マイセンとのオンライン交流会 対象：3年生 内容：両校校長挨拶、有田小学校の紹介及びクイズ、アリタ小学校マイセンからの発表。 ○R7. 10月下旬～：布絵の作成及び送付 対象：3年生 内容：干支の午年にちなんで、本校3年生が布に馬の絵や模様を描く。その後、アリタ小学校マイセンへ送付し、現地児童に続きを描いてもらう。完成作品は同校で披露された後、R8. 4月中旬に有田町訪独団が有田小学校へ持ち帰る。
江北町立 江北小学校	ルーサランカレッジ高校 (オーストラリア)			交流日：R7. 10. 8 参加人数 ルーサランカレッジ高校生徒・引率16名 6年生児童96名 交流内容 1校時目に3つの班に分かれて、それぞれ外国語科、書写（毛筆）、体育科の授業に参加する。
太良町立 多良小学校	美和国民小学 (台湾 台東県太麻里郷)		太良町の交流事業の一環	R7年度よりオンライン交流を始めた。R8年度もオンライン交流を行う予定。
太良町立 大浦小学校	富山実験小学校 (台湾 台東県卑南郷)		太良町の交流事業の一環	R7年度よりオンライン交流を始めた。R8年度もオンライン交流を行う予定。

(3) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数

(令和8年3月31日時点)

所在地（市町）	日本語教室数	所在地（市町）	日本語教室数
佐賀市	8 教室	吉野ヶ里町	1 教室
唐津市	2 教室	基山町	1 教室
鳥栖市	1 教室	みやき町	1 教室
多久市	1 教室	有田町	1 教室
伊万里市	2 教室	大町町	1 教室
武雄市	1 教室	白石町	1 教室
小城市	1 教室	太良町	1 教室
嬉野市	1 教室		
神埼市	1 教室	計	25 教室

調：多文化共生さが推進課

４．国際協力

（１） 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中 国	ブ ジ ラ ル	アルゼ ンチン	ペルー	韓 国	マレー シ ア	インド ネシア	フィリ ピ ン	タ イ	バングラ デシュ	モ ゴ ル	パラオ	計	主 な 研 修 機 関
S55 ～ H5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビュテック二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和養護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユウ
H6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
H7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
H8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
H9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
H10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
H11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	16	佐賀医大、サングコホレーション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
H12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
H13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、セモノジヤパン、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジヤパンシステムサガ、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
H14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビュティック二葉

年度	中 国	ブ ジ ラ ル	アルゼ ンチン	ペルー	韓 国	マレー シ ア	インド ネシア	フィリ ピ ン	タ イ	バングラ デシュ	モ ゴ ン	パラオ	計	主 な 研 修 機 関
H15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
H18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
H19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
H20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
H21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
H24 ～ R3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R4	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12	佐賀大学
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R6	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8	佐賀大学
R7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	佐賀大学
計	211	63	13	13	4	37	11	3	1	2	1	2	361	

※ S58年度まで県単独事業として実施

調：多文化共生さが推進課

S59年度からH15年度までは国庫補助事業として実施

H16年度から再び県単独事業として実施

H21年度からH23年度まではJICAの補助事業として実施

イ 独立行政法人国際協力機構（JICA） 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H元	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	（株）吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	（有）伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	（株）吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	（株）ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パ ラ オ	（財）佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車（株）
H14	1	モンゴル	（有）ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
H19	1	ブータン	〃
H20	1	ブータン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケ ニ ア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
H27	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モロッコ	佐賀大学大学院工学系研究科

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
H28	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科
	1	セネガル	佐賀大学工学研究科
H30	1	セネガル	佐賀大学工学研究科
R2	1	ミャンマー	佐賀大学大学院熱帯資源・植物生産科学研究科
	1	ブルキナファソ	佐賀大学大学院農学研究科
R3	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	南アフリカ共和国	佐賀大学理工学研究科
	1	ベナン	佐賀大学理工学研究科
	1	カメルーン	佐賀大学農学研究科
R4	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	2	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科
R5	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科
R6	3	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科、佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	1	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学理工学研究科
	1	リベリア	佐賀大学理工学研究科
	1	セネガル	佐賀大学理工学研究科
R7	2	ケニア	佐賀大学理工学研究科
	1	ナミビア	佐賀大学理工学研究科
	1	ブルンジ	佐賀大学理工学研究科
	1	ニジェール	佐賀大学理工学研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
	1	エチオピア	佐賀大学理工学研究科
	1	リベリア	佐賀大学理工学研究科
	1	セネガル	佐賀大学理工学研究科
	1	ソロモン	佐賀大学農学研究科
	1	ベナン	佐賀大学農学研究科

※H22 ～ H25、R元の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況（派遣時佐賀県在住者）

令和8年3月末現在

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	100	
シンガポール	1	第三国（電力供給・送配電）
インドネシア	21	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護（産科）、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム（GIS）、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像、中小企業海外展開支援、母子手帳を活用した母子保健プロジェクト
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究（媒介節足動物研究）
ベトナム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バングラデシュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整（母子保健サービス強化）
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー／水稻育種・栽培、チーフアドバイザー
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フィリピン	2	総合治水
スリランカ	6	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上、チーフアドバイザー／大学運営
モンゴル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
ラオス	2	メタファシリテーション、経済・ガバナンス企画調査員
ミャンマー	2	ボランティア支援、業務調整／民間連携
キルギス	2	野菜種子生産振興プロジェクト、一村一品インクリ式アプローチ
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整／教材作成支援
中南米	31	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	9	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー／広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボリビア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国（光ファイバー伝送システム）、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ（小規模米作近代化技術）、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	2	マングローブ生態系の回復と管理、ボランティア支援
エルサルバドル	1	算数数学教育／業務調整

国・地域	派遣人数	指導科目
アフリカ	25	
エジプト	1	染織物
カメルーン	5	品種純化選定技術、種子検査技術、コメ振興プロジェクト
ケニア	3	地下水開発（堀削機運転・堀削機維持）、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	2	灌漑/農民研修、稲栽培技術/種子生産
マリ	2	村落開発アドバイザー（農業一般）
ウガンダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ（運輸・交通、電力）、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マラウイ	2	船舶機関士養成、企画調整員
モロッコ	1	経済協力案件形成促進・監理
ガーナ	1	企画調整員（ボランティア支援）
ジブチ共和国	1	援助プログラム策定支援
ガボン	1	在外健康管理員
エチオピア	1	業務調整(エチオライズ2)
ヨーロッパ	4	
フランス	1	英国連携協力調査員
トルコ	3	文化財・遺物修復保存
計	163	

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

エ 青年海外協力隊等派遣状況（令和８年３月末現在）

（青年海外協力隊・海外協力隊、日系社会青年海外協力隊・日系社会海外協力隊、シニア海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊、各短期派遣を含む）

（ア）年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女
S44～H19	243	150	93
H20	15	7	8
H21	20	12	8
H22	22	9	13
H23	8	5	3
H24	10	6	4
H25	10	6	4
H26	9	4	5
H27	9	5	4
H28	13	6	7
H29	7	4	3
H30	14	8	6
R元	9	4	5
R2	0	0	0
R3	2	0	2
R4	3	1	2
R5	3	0	3
R6	8	3	5
R7	6	4	2
計	411	234	177

（イ）国別・地域別派遣者数（令和８年３月末現在）

国・地域	累 計	派 遣 中	帰 国
ア ジ ア	105	4	101
インドネシア	5	0	5
中国	5	0	5
タイ	8	1	7
フィリピン	11	1	10
マレーシア	11	0	11
ベトナム	11	0	11
バングラデシュ	5	0	5
ネパール	8	0	8
スリランカ	10	0	10
ラオス	5	0	5
インド	2	1	1
ブータン	8	0	8
カンボジア	6	0	6
モンゴル	8	1	7
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	0	1
オセアニア	36	2	34
パプアニューギニア	7	0	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	5	0	5
サモア	2	0	2
バヌアツ	5	0	5
ミクロネシア	2	1	1
フィジー	5	0	5
キリバス	1	0	1
パラオ	2	1	1
マーシャル諸島	2	0	2

国・地域	累 計	派 遣 中	帰 国
中 南 米	123	6	117
ウ ル グ ア イ	1	0	1
ホ ン ジ ュ ラ ス	12	0	12
ペ ル ー	14	0	14
ボ リ ビ ア	19	1	18
コ ロ ン ビ ア	3	0	3
パ ラ グ ア イ	15	0	15
グ ア テ マ ラ	9	0	9
ニ カ ラ グ ア	3	0	3
エルサルバドル	4	0	4
ベ リ ー ズ	3	1	2
エ ク ア ド ル	5	0	5
パ ナ マ	3	0	3
ジ ャ マ イ カ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	0	8
コ ス タ リ カ	1	0	1
メ キ シ コ	4	0	4
セ ン ト ル シ ア	2	0	2
ブ ラ ジ ル	14	3	11
アルゼンチン	1	1	0
チ リ	1	0	1
ア フ リ カ	125	3	122
ケ ニ ア	19	1	18
タ ン ザ ニ ア	16	0	16
ガ ー ナ	10	0	10
リ ベ リ ア	2	0	2
ザ ン ビ ア	15	0	15
セ ネ ガ ル	9	1	8
マ ラ ウ イ	14	0	14
ニ ジ ェ ー ル	4	0	4
コートジボアール	3	0	3
ボ ツ ワ ナ	5	0	5
マ ダ ガ ス カ ル	2	0	2
ジ ン バ ブ エ	2	0	2
エ チ オ ピ ア	6	0	6
ウ ガ ン ダ	8	0	8
ベ ナ ン	4	1	3
カ メ ル ー ン	1	0	1
モ ザ ン ビ ー ク	2	0	2
ブルキナファソ	3	0	3
中 東	22	0	22
ヨ ル ダ ン	5	0	5
シ リ ア	3	0	3
エ ジ プ ト	2	0	2
モ ロ ッ コ	8	0	8
チ ュ ニ ジ ア	4	0	4
ヨ ー ロ ッ パ	9	1	8
ブ ル ガ リ ア	5	0	5
セリビア	1	1	0
ハ ン ガ リ ー	3	0	3
佐 賀 県 計	420	16	404

(ウ) 青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況（佐賀県出発者）

	性 別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1	女	ボリビア	環境教育	令和7年7月～令和9年7月
2	女	ケニア	PCインストラクター	令和7年12月～令和9年12月
3	男	ラオス	理学療法士	令和8年1月～令和10年1月
4	男	モンゴル	青少年活動	令和8年1月～令和10年1月

(エ) シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出発者）

	性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1	—	—	—	—

(オ) 日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出発者）

	性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1	男	ブラジル	バトミントン	令和8年1月～令和10年1月
2	男	ブラジル	体育	令和8年1月～令和10年1月

オ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
S60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
S62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
S63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
H元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
H2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
H3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
H4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
H5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
H6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
H8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
H9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	（社）九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
H13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H15	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
H16	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
H17	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
H20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

※H21～R7の受入はなし

出典:独立行政法人国際協力機構九州センター調

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町名	担当課（室）名	電 話 番 号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務部国際課	国際交流係 0952-40-7023 多文化共生係 0952-40-7406	0952-40-2050	kokusai@city.saga.lg.jp
唐津市	地域政策課	0955-72-9220	0955-72-9182	kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働課	0942-85-3508	0942-83-3310	kyoudou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課 行政係	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	地域づくり課	0955-22-7046	0955-22-9575	chiikizukuri@city.imari.lg.jp
武雄市	男女参画・ 市民協働課	0954-23-9141	0954-23-3816	danjyo@city.takeo.lg.jp
鹿島市	広報企画課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	shiminkyoudou@city.ogi.lg.jp
嬉野市	地域共生社会推進課	0954-27-7038	0954-42-3300	chiiki@city.ureshino.lg.jp
神埼市	総合政策課	0952-37-0102	0952-52-1120	kikaku@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	財政協働課	0952-37-0331	0952-52-6189	zaiseikyodo@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課 協働推進係	0942-92-7935	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	政策課	0952-52-2182	0952-52-4935	seisaku@town.kamimine.lg.jp
みやき町	まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-3530	machizukuri@town.miyaki.lg.jp
玄海町	企画商工課	0955-52-2112	0955-52-3041	kikakusyoukou@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	syoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	machidukuri@town.omachi.lg.jp
江北町	総務政策課 企画情報係	0952-86-5612	0952-86-2130	soumuseisaku@town.kouhoku.lg.jp
白石町	総合戦略課 白石創生推進係	0952-84-7132	0952-84-6611	sougousenryaku@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画政策課	0954-68-0125	0954-67-2425	kikaku@town.tara.lg.jp

2. 県の機関

(本庁・教育庁) 〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 電話(代表) : 0952-24-2111
(佐賀商工ビル) 〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 電話 : 0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際政策グループ (本庁)	国際政策の企画立案及びその推進に関する事 と	0952-25-7419	0952-25-7084
多文化共生さが推進課 (本庁)	海外施策及び国際交流に係る施策の推進や国 際協力に関する事	0952-25-7328	0952-25-7084
	多文化共生に係る施策の総合調整及び推進に 関する事		
	旅券に関する事	0952-25-7005	0952-25-7417
国際交流プラザ (佐賀商工ビ ル1階)	多文化共生の推進に関する事	0952-25-7004	0952-25-7664
空港課 (本庁)	佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関する 事	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課 (本庁)	港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
観光課 (本庁)	観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及び 観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関する 事	観光企画担当 0952-25-7386	0952-25-7304
		国内・インバウンド担当 0952-25-7098	
産業政策課 (本庁)	産業振興に係る施策の総合企画に関する事	0952-25-7357	0952-25-7270
流通・貿易課 (本庁)	県産品の流通や国際経済に係る施策の企画及 び調整並びに推進に関する事。	地場産業担当 0952-25-7095	0952-25-7307
		国際経済担当 0952-25-7146	
教育振興課 グローバル人材 育成担当 (教育庁)	グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援セ ンター さが県産品流通デザ イン公社	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(一社)佐賀県文化観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡出入国在留管理局 佐賀 出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	0952-36-6261
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野二丁目2 番1号	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東二丁目11 番1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央一丁目8番32号 アイスクエアビル1階	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-0027 伊万里市立花町1542番地16	0955-22-7046	0955-22-9575
唐津市国際交流協会	〒847-0013 唐津市南城内1番1号 市民交流プラザ交流活動室	0955-72-9220	0955-72-9182
陶都有田国際交流協会	〒849-4192 西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前町国際交流協会	〒847-1516 唐津市肥前町瓜ヶ坂434番地	0955-54-2481	0955-54-2481